
第3次四日市市スポーツ推進基本計画



平成29年3月
四日市市教育委員会

目 次

第1章 スポーツ推進計画の策定にあたって	1
（1）はじめに（計画策定の趣旨）	1
（2）計画の位置付け	2
（3）計画の期間	2
（4）上位計画・関係する計画	3
（5）計画策定の経緯	4
第2章 四日市市のスポーツ活動の現状	5
（1）市の人口と高齢化の状況	5
（2）市民の運動・スポーツ活動の実態	6
（3）子どもの体力・スポーツに対する意識	12
（4）スポーツ団体の活動	14
（5）スポーツ指導者の現状	15
（6）競技力の現状	15
（7）市のスポーツ施設の状況	16
（8）スポーツ教室、大会・イベントの状況	17
（9）市のスポーツ推進についての意見	19
第3章 スポーツ推進の基本的な考え方	21
（1）目標像	21
（2）基本政策	21
（3）基本方針	22
第4章 施策の展開	25
（1）基本方針1 生涯スポーツの推進、スポーツを通じた健康の保持増進	25
（2）基本方針2 競技水準・子どもの体力向上	32
（3）基本方針3 指導者の確保及び育成	36
（4）基本方針4 スポーツを通じた地域の活性化	38
（5）基本方針5 スポーツ施設の整備と利用促進	40
<資料編>	42
（1）四日市市みんなのスポーツ応援条例	42
（2）四日市市のスポーツに関するアンケート調査集計結果	45
（3）「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（文部科学省）」の調査結果	59
（4）スポーツ施設一覧	61
（5）四日市市スポーツ推進審議会委員名簿	63
（6）用語集	64

第1章 スポーツ推進計画の策定にあたって

(1) はじめに（計画策定の趣旨）

心身ともに健康な生活を営むため、豊かな心や感性を育てていくうえでスポーツの果たす役割が大きくなっています。

本市では、市民の誰もが、生涯にわたってスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現することを目的として、スポーツ推進を図って参りました。

近年、健康づくりに対する関心とともに、スポーツに対する期待が高まっています。本市においても、既に超高齢社会となっていることから、高齢者の健康増進、生きがいをづくりの観点から、これまで以上にスポーツ推進を図っていく必要があります。また、社会環境の変化に伴って、市民のスポーツに対するニーズは多様化してきていることから、市民のニーズを十分に踏まえた施策を検討していく必要があります。

平成32年には東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されているほか、三重県において、平成30年には全国高等学校総合体育大会（インターハイ）、平成32年には全国中学校体育大会、平成33年には「三重とこわか国体」の開催が予定されており、本市がスポーツ推進を図る絶好の機会を迎えています。

加えて、本市では、平成28年4月に「四日市市観光・シティプロモーション（※）条例」を策定し、観光の推進及びシティプロモーションによる交流人口・定住人口の増加及び地域活性化を図っており、スポーツを通じた施策や、本市のイメージ向上に対する期待が高まっています。

このような中、誰もがスポーツに親しみ、健康で豊かな生活を送ることができる生涯スポーツ（※）社会の実現を引き続き目指し、本市の実情に応じたスポーツ推進施策を体系的・計画的に推進するため、「第3次四日市市スポーツ推進基本計画」を策定いたしました。

【本書での表記について】

- ・ 文章中の※印は、＜資料編＞の「用語集」に説明を掲載している単語です。
- ・ アンケートの集計結果の表示方法について
 - ① 掲載のグラフは無回答（いずれの選択肢にも回答がなかったもの）を除いた集計結果であり、nは該当設問の有効サンプルの数を表します。
 - ② 数値（％）は小数点以下第2位を四捨五入したものであるため、合計が100%にならないことがあります。
 - ③ 複数回答の数値は、選択肢ごとの回答数を有効サンプル数（n）で割った結果であり、全ての割合を合計すると、通常は100を超えます。

(2) 計画の位置付け

本市では、平成 19 年 2 月に、スポーツ推進の基本的な方向性を示す「四日市市スポーツ振興計画」を策定し、スポーツ推進事業を実施してきました。その後、平成 24 年 3 月には「四日市市総合計画（平成 23 年度～平成 32 年度）」や、国でのスポーツ基本法（※）制定等を踏まえて、平成 24 年度から平成 28 年度までを計画期間とする「第 2 次四日市市スポーツ推進基本計画」を策定し、取組を進めています。

また、平成 28 年度には、「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる活力あるまちづくりの創生を目的として、基本政策やスポーツ推進にあたっての各主体の役割を定めた「四日市市みんなのスポーツ応援条例」（以下、「条例」という。）を議員提案により制定しました。

本計画は、「第 2 次四日市市スポーツ推進基本計画」を継承するとともに、条例の内容や、本市のスポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、本市のスポーツ推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として策定いたしました。

(3) 計画の期間

本計画の期間は、「四日市市総合計画（平成 23 年度～平成 32 年度）」との整合性を図りながら、各種事業の実施や進行管理を行うため、平成 29 年度から平成 33 年度までの 5 年間とします。また、進捗状況や社会情勢の変化に対応するため、期間中に見直しすることで新計画の充実を図ります。

【計画期間中のイベント】

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
国 (全国)	 スポーツ基本計画 （平成 24 年度から概ね 10 年間）				
	東京オリンピック・パラリンピック				
三重県	 三重県スポーツ推進計画 （平成 27 年度から平成 30 年度）				
	全国高等学校総合体育大会 （インターハイ）※東海四県		全国中学校体育大会		国民体育大会 （三重とこわか国体）・ 全国障害者スポーツ大会
四日市市	 四日市市総合計画 （平成 23 年度から平成 32 年度）				
	インターハイ （テニス・サッカー）		プレ国体 オリンピック事 前キャンプ		三重とこわか国体 （8 競技）

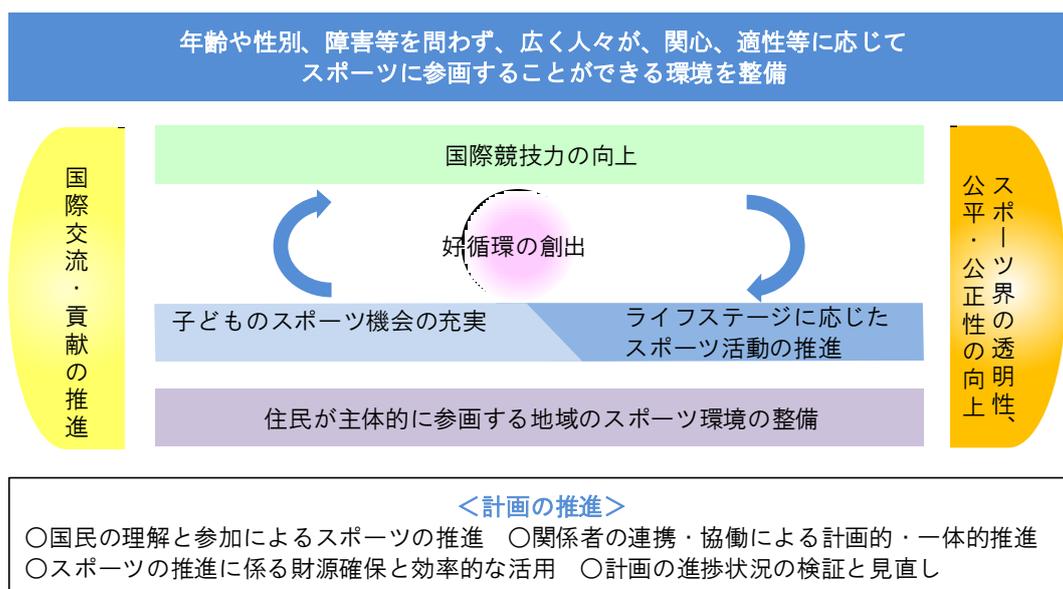
(4) 上位計画・関係する計画

国では、平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」に基づいて、平成24年3月に、概ね10年間を見通したスポーツ施策の基本方針と具体的な施策を示すものとして「スポーツ基本計画（※）」を策定しました。基本方針では、「年齢や性別、障害等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備すること」を政策課題として、下図のように、7つの政策目標が設定されています。

このような中、三重県では、平成24年度より、「みえ県民力ビジョン・行動計画」においてスポーツの推進を政策の一つに位置づけ、スポーツ推進局を設置して、取組を進めています。また、国の「スポーツ基本計画」の策定や、「三重とこわか国体」等の開催予定を踏まえて、平成27年4月に「三重県スポーツ推進条例（※）」を施行し、スポーツ推進の基本的な事項等を定めた「三重県スポーツ推進計画（※）」を策定しました。同計画では、下図のように7つの推進施策の柱が定められています。

本計画は、これら国や三重県の計画を参酌しており、加えて、本市のまちづくりの指針である「四日市市総合計画（平成23年度～平成32年度）」との整合性を図っています。

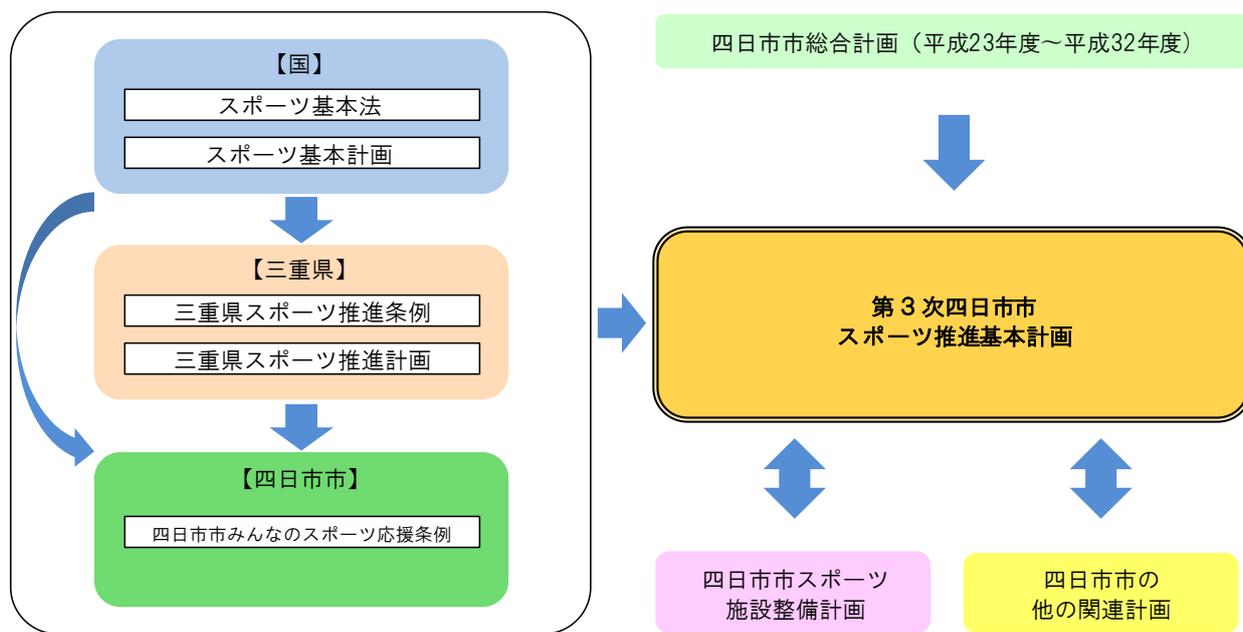
【国のスポーツ基本計画の基本方針】



【三重県のスポーツ推進計画の推進施策のイメージ】



【計画の位置付け】



(5) 計画策定の経緯

本計画の策定にあたって、本市のスポーツの現状と課題や要望等を把握するため、以下のようにアンケート調査、ヒアリング調査を実施しました。

1) 「四日市市のスポーツに関するアンケート調査」の実施

市民のスポーツ活動の実態や、本市のスポーツ推進に対する意見・要望等を把握するため、市民ならびに市内スポーツ団体、本市スポーツ推進委員（※）に対してアンケート調査を実施しました。

【実施したアンケート調査】

①市民向けアンケート調査
 ・調査対象先：平成 28 年 5 月 25 日現在において四日市市在住の 20 代以上の方から無作為に抽出した 3,000 名
 ・回収数：1,095 人 (36.5%)

②スポーツ団体向けアンケート調査
 ・調査対象先・回収率：下表の通り。

調査対象	送付数	回収率(%)
①四日市市体育協会（※）加盟団体	44	65.9%
②四日市市レクリエーション協会（※）加盟団体	19	68.4%
③四日市市スポーツ少年団（※）加盟団体	61	55.7%
④市内の総合型地域スポーツクラブ（※）	6	83.3%
合計	130	62.3%

③スポーツ推進委員向けアンケート調査
 ・調査対象先：平成 28 年 5 月現在の四日市市スポーツ推進委員 76 人
 ・回収数：34 人 (44.7%)
 ※調査方法：①～③の別に調査票を作成し、いずれも、郵送により調査票を送付し回収した。
 ※調査期間：いずれも平成 28 年 6 月 1 日～平成 28 年 6 月 13 日

2) ヒアリング調査の実施

市民のスポーツ活動の実態や、本市のスポーツ推進策や施設の問題点を把握するため、四日市市体育協会及び本市のスポーツ施設指定管理者（※）（四日市市運動施設指定管理者、四日市ドーム指定管理者の 2 団体）に対してヒアリング調査を実施しました。

第2章 四日市市のスポーツ活動の現状

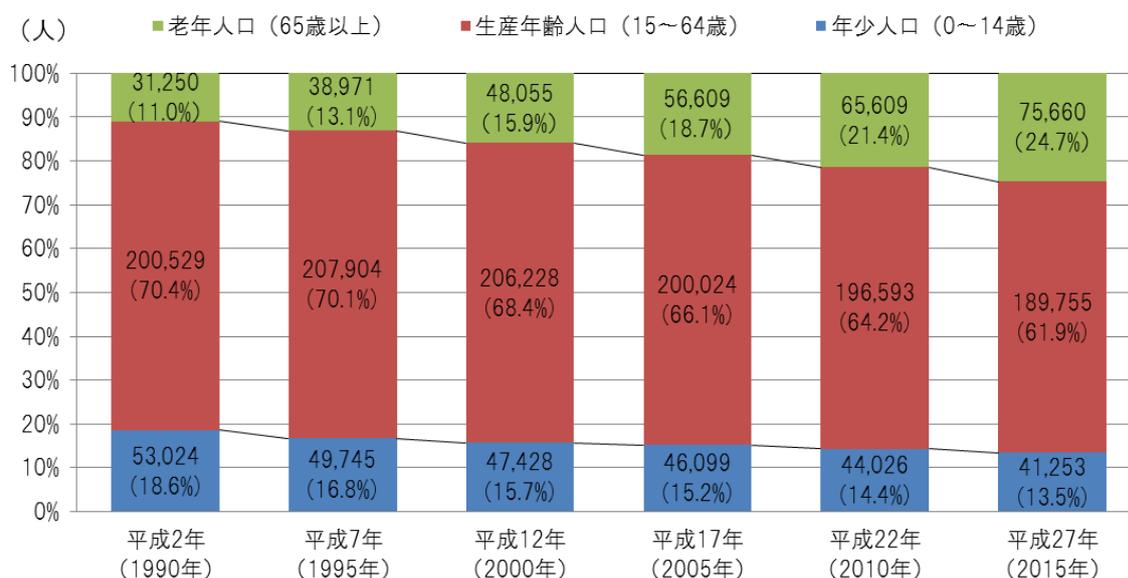
(1) 市の人口と高齢化の状況

住民基本台帳によると、本市の総人口は、平成20年の314,805人をピークに減少に転じています。

年齢3区分別人口の推移をみると、老年人口が増加傾向にあり、今後さらに増加する見込みです。また、平成27年度時点（国勢調査）の高齢化率は24.7%と4人に1人が高齢者となっており、超高齢社会を迎えています。

高齢化の進行により、医療費や介護給付費が増大し、市民1人あたりの負担が増すことが見込まれます。

【年齢3区分別人口の推移】



※平成12年以前の値は、旧四日市市と旧楠町の合計値

割合は分母から年齢不詳を除いて算出

資料：国勢調査

(2) 市民の運動・スポーツ活動の実態

1) 「するスポーツ」の実態 [市民向けアンケート調査より]

① 運動・スポーツの実施内容

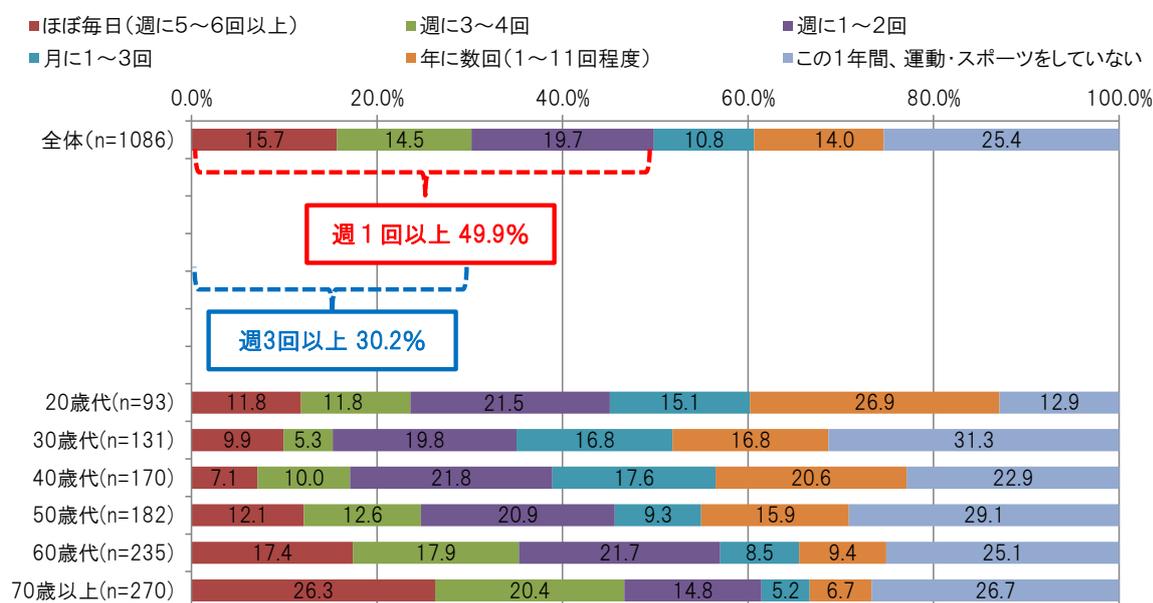
i) 運動・スポーツの実施率

※「運動・スポーツ」＝「種目を問わず、通勤方法に徒歩や自転車を取り入れる等も含む」として調査しました。

市民向けアンケート調査結果によると、運動・スポーツを週1回以上実施した割合（実施率）は49.9%、週3回以上では30.2%となっています。一方で、この1年間、運動・スポーツをしていない人が25.4%みられます。

実施率を年代別にみると、60歳代、70歳以上が高く、30歳代・40歳代が低くなっています。

【過去1年間の運動・スポーツの実施頻度（全体・年代別）】



週1回以上の実施率については、国や三重県における近年の類似調査結果と比較すると、高い数値となっています。

なお、国では、「スポーツ基本計画（平成24年3月）」において、週1回以上の実施率を65%程度、週3回以上の実施率を30%程度となることを政策目標としています。

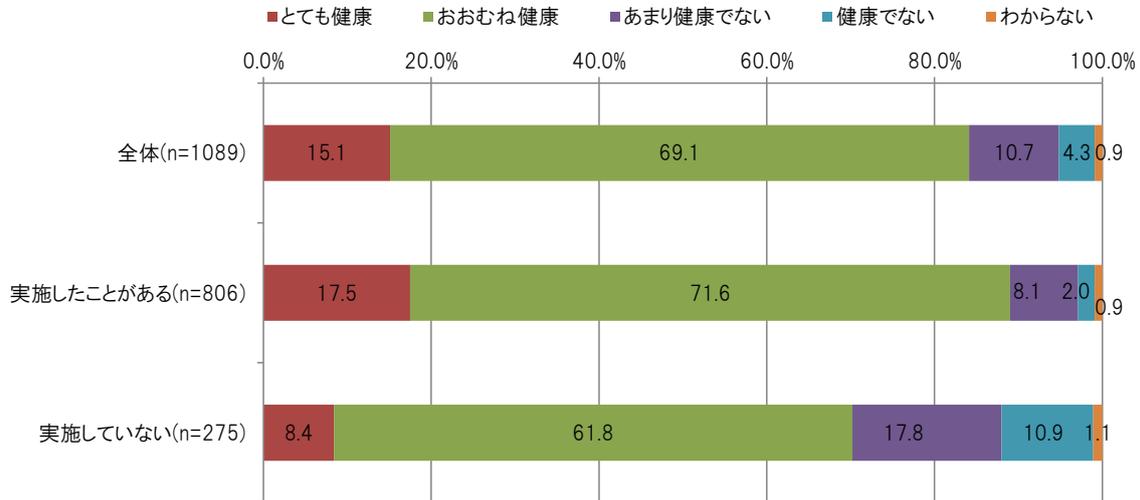
【本市・三重県・全国のスポーツ実施率】

	運動・スポーツ実施率		資料・調査年
	週1回以上	週3回以上	
四日市市	49.9%	30.2%	「四日市市のスポーツに関するアンケート調査」・平成28年
三重県	47.4%	29.1%	「みえ県民意識調査」・平成27年
全国	42.5%	19.7%	「スポーツの実施状況等に関する世論調査（スポーツ庁）」・平成28年

ii) 運動・スポーツの実施状況と健康状態との関係

「現在の健康状態」と「運動・スポーツの実施状況」との関係を見ると、運動・スポーツを実施していない人では、「健康でない」や「あまり健康でない」が、運動・スポーツを実施した人に比べて高くなっています。

【現在の健康状態（運動・スポーツの実施頻度別）】

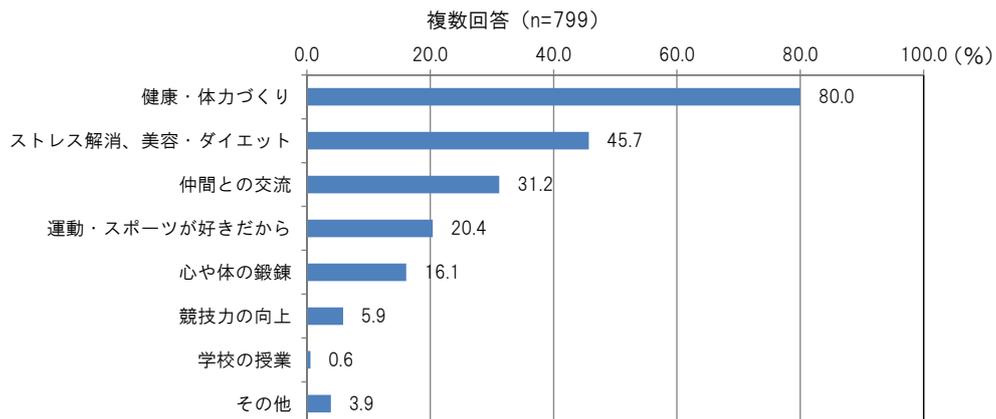


iii) 運動・スポーツを実施する目的

運動・スポーツを実施した人の主な実施の目的は、「健康・体力づくり」が最も高く（80.0%）、「ストレス解消、美容・ダイエット（45.7%）」、「仲間との交流（31.2%）」が続きます。

多くの市民が、運動・スポーツが健康増進に役立つものだと考えて、実施していることがわかります。

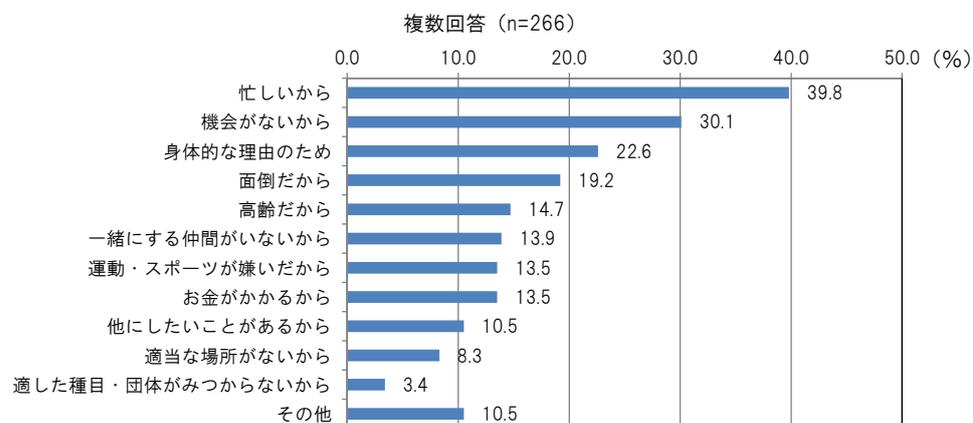
【運動・スポーツを実施する主な目的】



iv) 運動・スポーツを実施していない理由

過去1年間、運動・スポーツを実施していない人の実施していない理由では、「忙しいから」が最も高く（39.8%）、次いで、「機会がないから（30.1%）」、「身体的な理由のため（22.6%）」が続いています。

【運動・スポーツを実施していない理由】



[その他の回答内容]

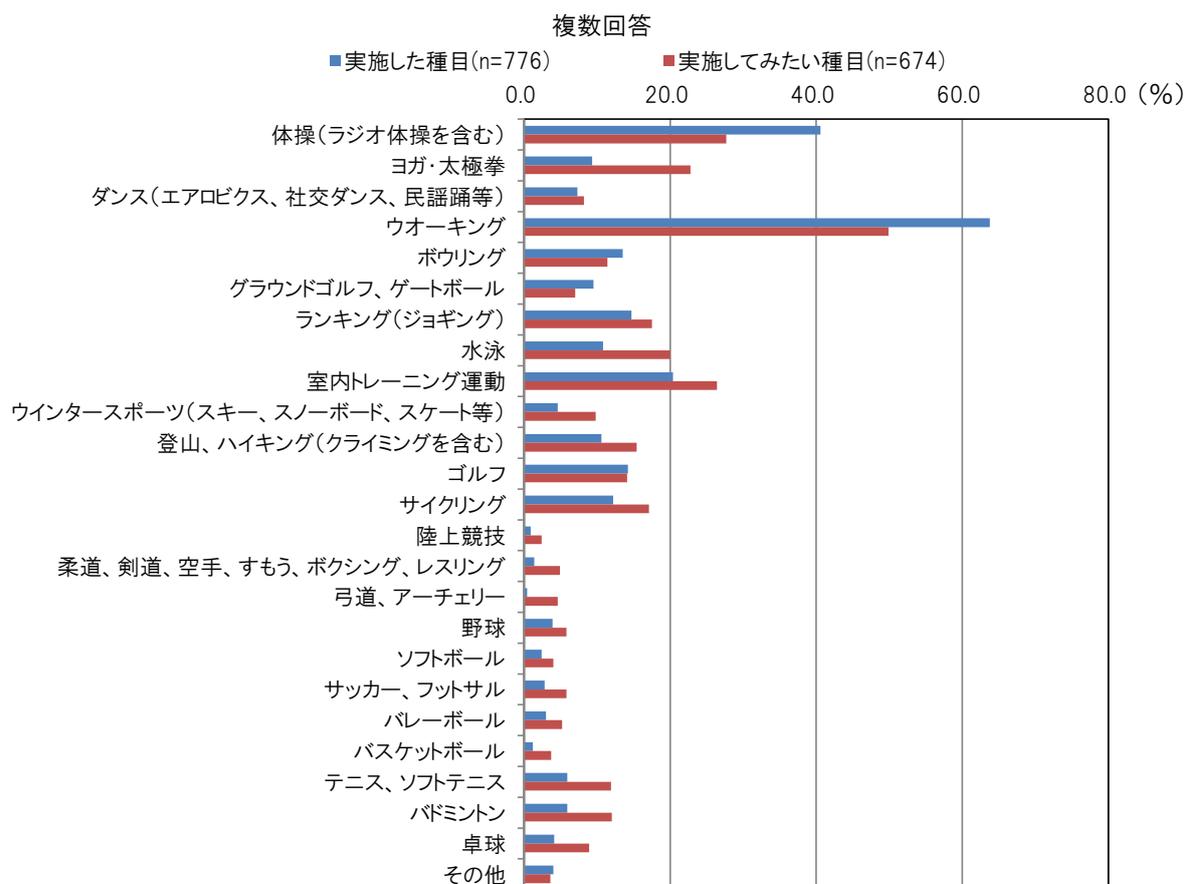
- ・ 仕事で体を動かしているため（スポーツをする必要性がない）
- ・ 親の介護をしているため
- ・ 出産後のため
- ・ 育児しているため

v) 実施した種目、実施したい種目

過去1年間、運動・スポーツを実施した人に対して、実施したことがある種目を尋ねた結果では、「ウォーキング（63.8%）」が最も高く、「体操（ラジオ体操を含む）（40.6%）」、「室内トレーニング（20.4%）」が続いています。

今後、実施してみたい種目では、上位3位は実施したことがある種目と同じです。実施したことがある種目よりも高くなっているものとして、「ヨガ・太極拳」「水泳」「室内トレーニング運動」「ウィンタースポーツ（スキー、スノーボード、スケート等）」「テニス、ソフトテニス」「バドミントン」等があげられます。

【この1年間で実施したことがある種目・今後実施してみたい種目】



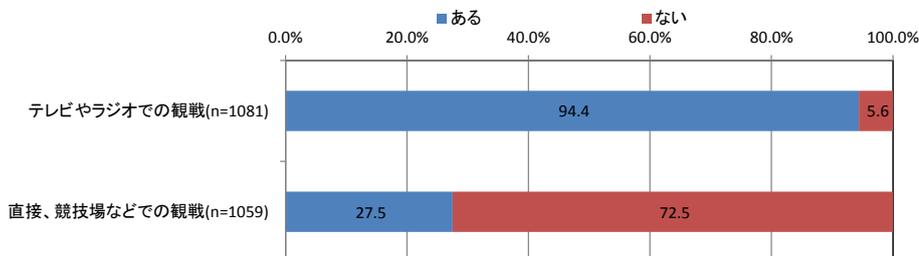
※「実施してみたい種目」には、過去1年間、運動・スポーツを実施していない人の回答も含めています。

2) 「観るスポーツ」の実態 [市民向けアンケート調査より]

①スポーツの観戦率

市民向けアンケート調査結果によると、過去1年間に、スポーツをテレビで観たり、ラジオで聞いたりしたことがある人は約9割（94.4%）となっています。一方、過去1年間に、直接、競技場等で観戦したことがある人については、約3割（27.5%）となっています。

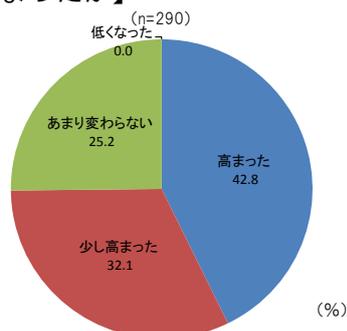
【スポーツの観戦状況】



②スポーツ観戦による影響

直接観戦したことがある人に対して、観戦をしたことで競技に対して関心が高まったかを尋ねた結果では、「高まった」と「少し高まった」をあわせて7割超（74.9%）となっています。

【観戦したことで競技へ関心が高まったか】

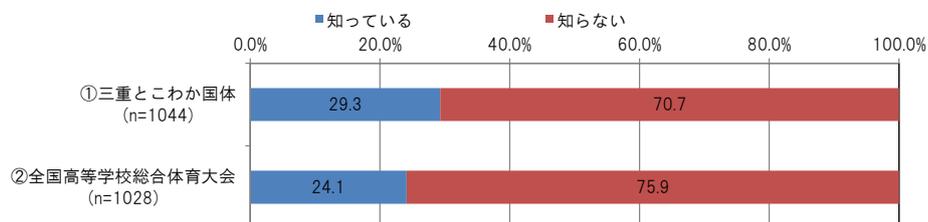


③「三重とこわか国体」・全国高等学校総合体育大会の認知度・関心度

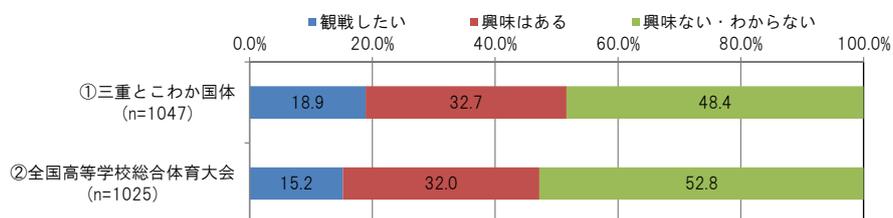
本市で「三重とこわか国体」・全国高等学校総合体育大会の競技が実施されることに対する認知度については、「知っている」は両大会とも2割台となっています。

また、これらの大会のうち、本市で実施される競技の観戦に対する関心度については、「観戦したい」が、「三重とこわか国体」では18.9%、全国高等学校総合体育大会では15.2%となっています。

【本市での「三重とこわか国体」・全国高等学校総合体育大会開催の認知度】



【本市での「三重とこわか国体」・全国高等学校総合体育大会観戦の関心度】

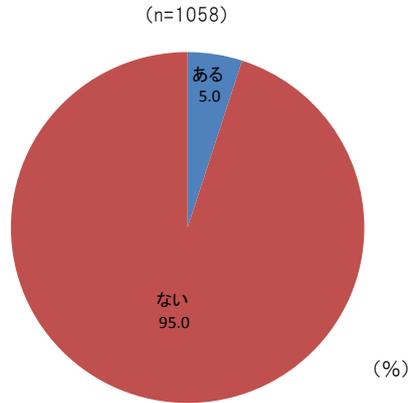


3) 「支える（育てる）スポーツ」の実態 [市民向けアンケート調査より]

①スポーツボランティア活動の実施状況

※スポーツボランティア活動＝「報酬（交通費等の実費相当を上回るもの）を得ることを目的としないもの」として調査しました。
市民向けアンケート調査結果によると、過去1年間にスポーツボランティア活動を行ったことがある人の割合は、僅かとなっています（5.0%）。

【過去1年間のスポーツボランティア活動の有無】

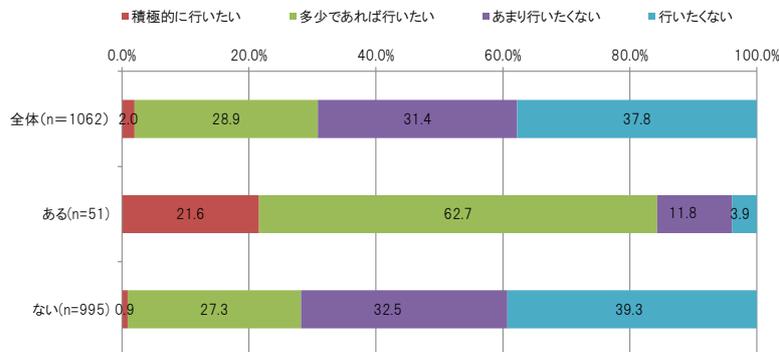


②今後のスポーツボランティア活動の実施希望

今後、スポーツボランティア活動を行いたいかについては、「積極的にやりたい」と「多少であれば行いたい」をあわせて、全体では約3割となっています（30.9%）。

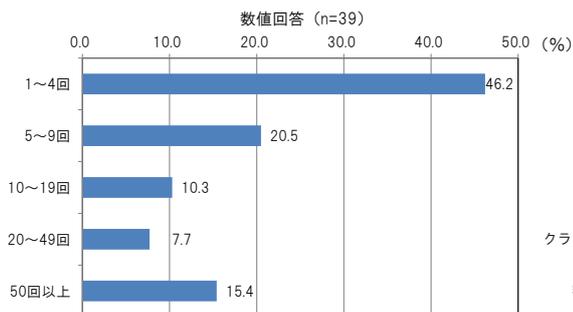
スポーツボランティア活動を行った人と、ない人の別にみると、行った人の方が積極的な回答が高くなっていますが（84.3%）、ない人でも約3割が積極的な回答となっています（36.2%）。

【今後のスポーツボランティア活動に対する考え（スポーツボランティア活動の有無別）】

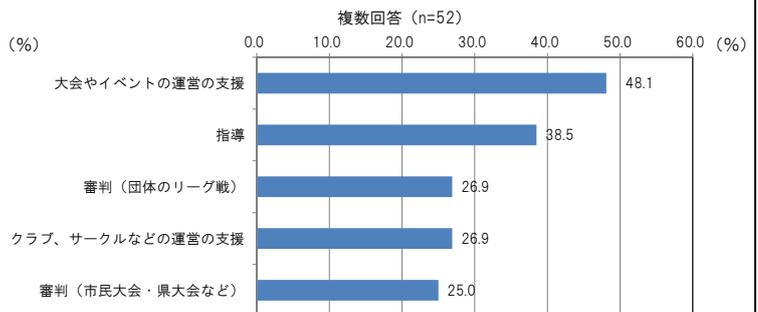


（参考）スポーツボランティア活動を行ったことがある人の実施回数と実施内容

【実施回数】



【実施内容】



(3) 子どもの体力・スポーツに対する意識

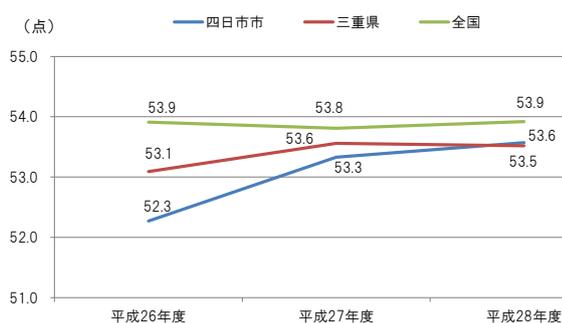
1) 子どもの体力・運動能力

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(※)(文部科学省)」にて、小学5年生の体力測定結果をみると、平成28年度は、「体力合計点」は男女ともに全国平均をわずかながら下回っており、中学2年生では、男子は全国平均とほぼ同値、女子は全国平均を上回っています。

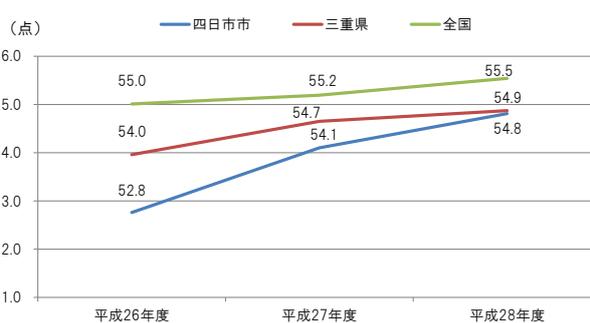
小学5年生の男女、中学2年生の女子は、いずれも過去3年間で最も高い結果となり、全国平均を下回る小学5年生においても全国平均との差は縮まっています。

【小学5年生の体力合計点(過去3年分)】

[男子]

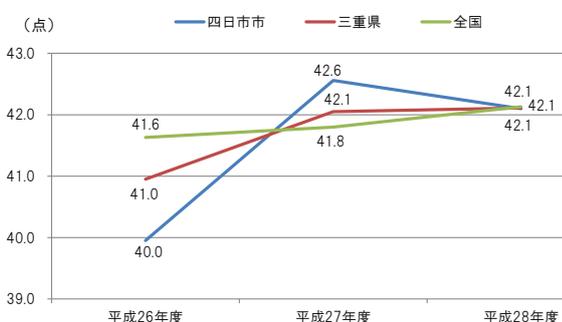


[女子]

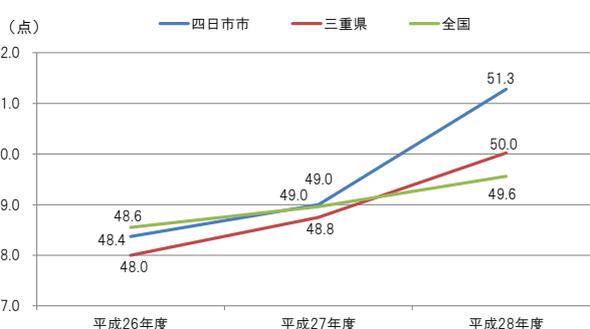


【中学2年生の体力合計点(過去3年分)】

[男子]



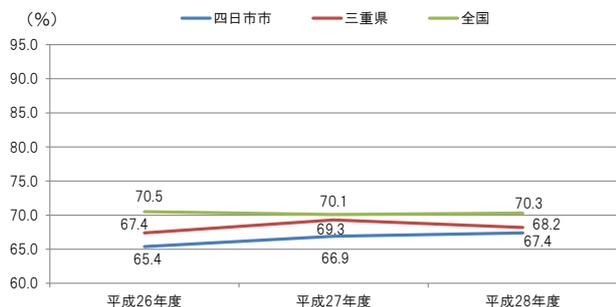
[女子]



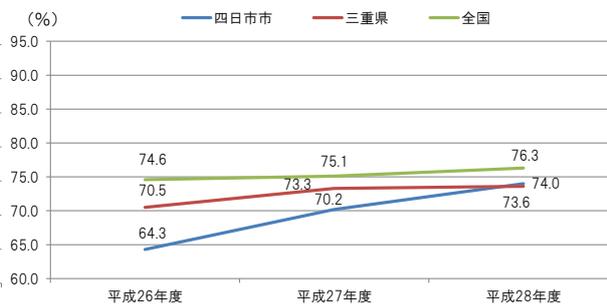
「体力合計点」は、調査対象者の値の平均であるため、体力・運動能力のバラツキを把握することはできません。そこで、同調査の「実技〔総合評価〕」(A~Eの5段階)の評価結果にて、標準となる「C」以上(A~Cの合計)の割合をみると、小学5年生では男女ともに全国より低く、標準未満(D・E)の子どもの割合が高くなっています。ただし、過去3年間で改善がみられます。

【小学5年生の実技〔総合評価〕A～Cの割合（過去3年分）】

[男子]

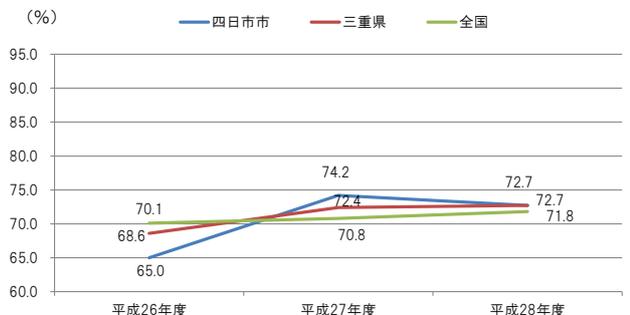


[女子]

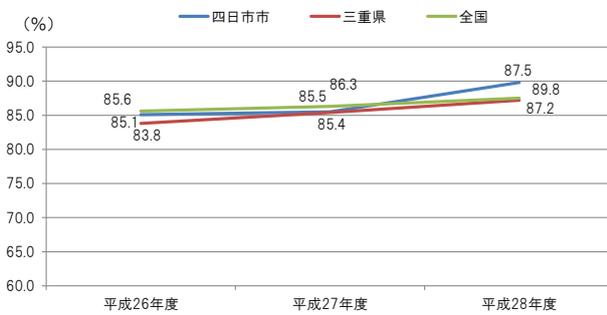


【中学2年生の実技〔総合評価〕A～Cの割合（過去3年分）】

[男子]



[女子]



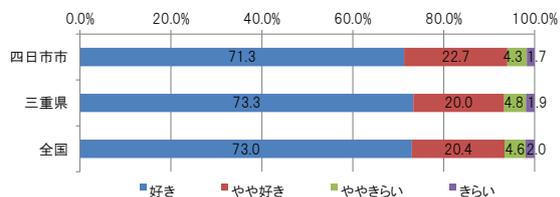
2) 子どもの運動・スポーツに対する意識

同調査によると、平成28年度の小学5年生の「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好き」と答えた割合（「やや好き」を含む）は、男子は全国と同水準ですが女子は全国よりもわずかながら下回っています。

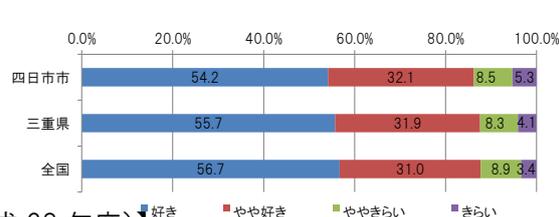
中学2年生は男女ともに全国と同水準となっています。

【小学5年生の運動・スポーツに対する意識（平成28年度）】

[男子]

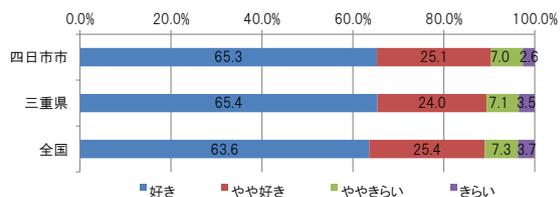


[女子]

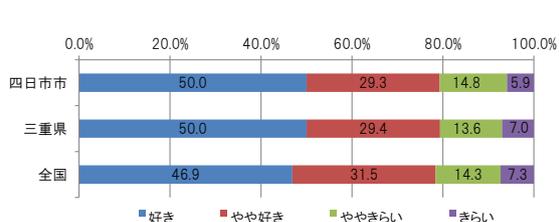


【中学2年生の運動・スポーツに対する意識（平成28年度）】

[男子]



[女子]



(4) スポーツ団体の活動

1) スポーツ団体の現状

本市の体育協会・スポーツ少年団・レクリエーション協会の加盟団体、総合型地域スポーツクラブ等の団体は、スポーツの普及・競技力向上において大きな役割を担っています。

体育協会やレクリエーション協会の加盟団体は、近年、団体数は若干増加しているものの、会員数は若干減少しています。スポーツ少年団の加盟団体は、団体数、団員数ともに減少しています。

総合型地域スポーツクラブについては、平成23年度以降、新たな設立はありません。

【スポーツ団体の数・構成員数の推移】

団体種類	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
四日市市体育協会	団体数(団体)	44	47	49	50	49	48
	会員数(人)	37,722	36,794	36,261	36,627	36,978	36,089
四日市市レクリエーション協会	団体数(団体)	18	18	19	19	19	19
	会員数(人)	3,692	3,252	3,222	3,129	3,259	3,109
四日市市スポーツ少年団	団体数(団体)	91	89	81	74	65	62
	団員数(人)	1,561	1,599	1,318	1,165	1,033	1,014
総合型地域スポーツクラブ	団体数(団体)	6	6	6	6	6	6
	会員数(人)	4,218	4,279	4,136	4,019	4,211	4,323

2) スポーツ団体の活動実態〔団体向けアンケート調査より〕

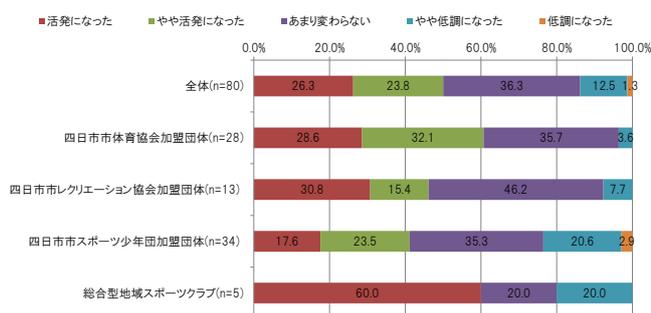
団体向けのアンケート調査によると、過去5年間で活動が活発になったかについては、全体的に、「活発になった」と「やや活発になった」の合計が、「低調になった」「やや低調になった」より高くなっています。

会員(構成員)数の傾向については、体育協会加盟団体と総合型地域スポーツクラブでは、「増加傾向」と「やや増加傾向」の合計が「減少傾向」「やや減少傾向」より高くなっています。

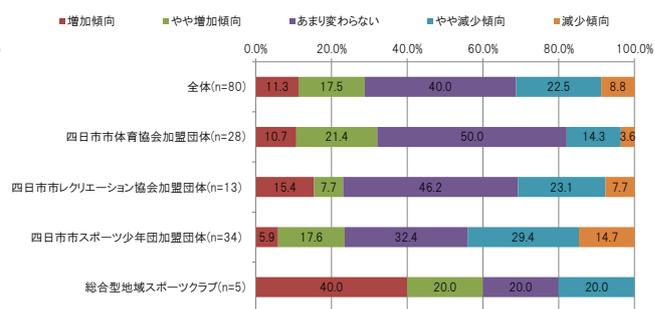
指導者数の傾向については、レクリエーション協会加盟団体を除き、「増加傾向」と「やや増加傾向」の合計が「減少傾向」「やや減少傾向」より高くなっています。

団体数・会員数が減少傾向のなか、既存団体については順調との回答が目立ちます。ただ、一部では不調気味の回答もみられます。

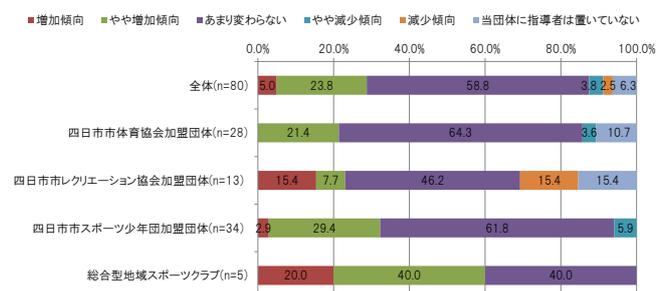
【過去5年間の動向(団体の種類別)】



【過去5年間の会員数の傾向(団体の種類別)】



【過去5年間の指導者数の傾向(団体の種類別)】



(5) スポーツ指導者の現状

1) 指導員の状況

スポーツ推進委員は、スポーツ推進を図るために、スポーツの技術指導や、スポーツに関する様々な指導・助言、住民と行政を結ぶコーディネーターとしての役割を担う指導者として、本市がスポーツ基本法に基づき委嘱しており、76名（平成28年度）の方に地域にて活躍していただいています。

スポーツリーダーバンクは、地域の職場等からの要請に対して、適切なスポーツ指導者を紹介する制度で、現在、本市では70名が登録していますが、近年、活用が全くなく、対応策を検討する必要があります。

スポーツ少年団指導者数は減少傾向にあります。これは、スポーツ少年団の団体数が減少傾向にあることから、団体に指導員として参加する指導者の数が減少しているためとみられます。

【スポーツ指導員の登録状況の推移】

指導者の区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
スポーツ推進委員（人）	86	86	79	81	76	76
スポーツリーダーバンク（人）	76	78	78	70	70	70
四日市市スポーツ少年団指導者数（人）	378	384	361	360	341	338

(6) 競技力の現状

1) スポーツ選手の活躍状況

本市では、これまで全国や世界で活躍するスポーツ選手を数多く輩出しています。

本市が全国大会等の出場者に対して支給するスポーツ激励金の支給者数をみると、増加傾向となっています。

本市のスポーツ顕彰制度のうち選手に対する栄光賞や奨励賞、また、スポーツ選手の本市への表敬訪問件数は、年度によって増減はあるものの増加傾向にあり、平成27年度は、近年で最も多くなっています。

【スポーツ激励金の支給者数の推移】

支給区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
全国大会（人）	579	607	776	745	763	895
国民体育大会（人）	81	112	104	77	75	85
高等学校選抜大会（人）	155	170	179	158	158	203
国際大会（人）	7	6	8	12	13	21
合計（人）	822	895	1,067	992	1,009	1,204

【スポーツ栄光賞・奨励賞受賞者数の推移】

支給区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
個人種目	(種) 34	53	35	36	42	47
団体種目	(種) 18	22	36	20	24	51
	(団体数) 2	2	4	4	8	6
合計	(種) 52	75	71	56	66	98

【スポーツ選手の本市への表敬訪問件数の推移】

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
訪問件数（件）	24	27	29	33	37	42

（７）市のスポーツ施設の状況

１）施設の現状

①市のスポーツ施設の状況

本市には、スポーツ課が所管するスポーツ施設が 30 施設あります。

「四日市市スポーツ施設整備計画（※）（平成 27 年 3 月）」に記載のとおり、施設の多くは老朽化が進んでおり、また、大規模な大会に対応できる施設が不足している等の課題があります。

スポーツ施設の利用者数は、概ね 90～100 万人台で推移しています。大規模拠点施設を中心に高い稼働率が続き、また、野球場・サッカー場等についても予約が一杯のところが多く、不足しているとの声が寄せられています。

こういった中、現在、同計画に基づいて、中央緑地公園内や、霞ヶ浦緑地公園内に新たな施設の整備を進めているほか、既存施設についても、必要な整備を進めていく必要があります。

【スポーツ施設の施設数内訳・利用者数の推移（施設区分別）】

施設区分	施設数	利用者数（単位：人）						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ドーム	1	200,418	234,129	162,850	180,396	162,724	169,144	159,994
体育館	4	195,268	199,217	180,754	195,525	206,302	225,326	249,088
野球場・ソフトボール場	8	126,394	152,073	114,068	149,608	158,724	168,230	167,812
サッカー場・ラグビー場	3	52,607	64,889	60,599	72,616	91,426	77,648	47,619
テニスコート	4	83,191	86,473	83,603	87,076	97,567	109,989	114,261
プール	2	78,584	80,688	81,290	92,475	97,279	71,407	82,903
陸上競技場	1	55,407	59,657	60,669	74,517	65,647	82,455	82,550
武道館	1	46,926	48,944	46,564	47,186	44,971	23,134	30,845
弓道場	1	5,607	8,691	8,179	8,433	9,037	8,653	12,461
舟艇場	1	10,740	9,960	10,800	9,960	8,707	8,712	8,712
（その他の施設）	5	48,774	52,512	43,105	44,966	37,785	48,975	54,339
合計	31	903,916	997,233	852,481	962,758	980,169	993,673	1,010,584

※施設数は平成27年度時点のものです。利用者数は平成25年度中に廃止となった施設分を含みます。

②学校開放施設の状況

学校施設の開放は全ての市立小中学校の運動場や体育館等において実施され、登録団体数は 599 団体（平成 28 年度）となっており、施設の利用はほぼ飽和状態となっています。

【学校開放施設の利用時間数】

◆学校体育施設開放状況

区分	施設数	利用時間数（単位：時間）						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
小学校	40	98,561	96,973	96,783	99,324	102,384	99,859	98,790
中学校	22	23,702	24,651	24,401	23,846	25,160	24,679	24,988
合計	62	122,263	121,624	121,184	123,170	127,544	124,538	123,778

※施設数は平成27年度時点のものです。利用時間数は廃止となった施設分を含みます。

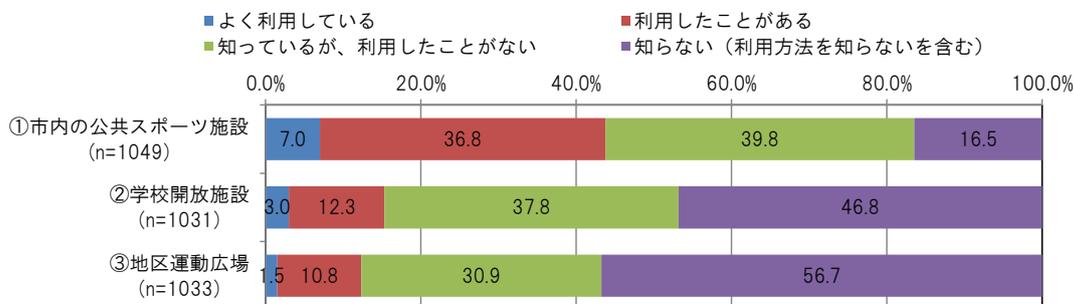
③地区運動広場の状況

地区運動広場は 14 箇所あり（平成 28 年度）、地域の多くの方に利用されています。

2) 市民の公共スポーツ施設等の利用状況 [市民向けアンケート調査より]

市民向けアンケート調査によると、市内の公共スポーツに関しては、「よく利用している」と「利用したことがある」を合わせると約4割となっています（43.8%）。また、学校開放施設、地区運動広場に関しては、ともに「知らない」が最も高くなっています。

【市内の公共スポーツ施設等への認識】



(8) スポーツ教室、大会・イベントの状況

1) スポーツ教室・イベントの開催状況

①スポーツ教室の開催状況

本市では、スポーツをはじめめるきっかけづくりを目的として、本市主催で4種、指定管理者主催で64種の教室を開催し、参加者数は計4,851人となっており（平成27年度）、増加傾向です。

【スポーツ教室・イベントの開催数・参加者数】

教室の区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市主催	教室数(種)	0	1	1	1	2	4
	参加者数(人)	0	90	23	98	187	334
トップアスリートによる教室	教室数(種)	39	38	40	43	53	64
	参加者数(人)	2,138	2,409	2,966	3,682	3,917	4,517
	参加組数(組)	42	41	63	36	-	-
指定管理者主催教室	教室数(種)	39	39	41	44	55	68
	参加者数(人)	2,138	2,499	2,989	3,780	4,104	4,851
合計	教室数(種)	42	41	63	36	-	-
	参加者数(人)	2,138	2,499	2,989	3,780	4,104	4,851

※参加者数は、平成25年度以前は、教室によって人数・団体数のどちらかで把握していたため、それぞれ掲載しています。
 ※スポーツ以外の教室は除外しています。

②大会・イベントの開催状況

本市では、競技力の向上や、市民が気軽にスポーツができるきっかけづくりを目的として、また「観るスポーツ」の機会創出等を目的として、スポーツ推進委員やスポーツ団体と連携して、スポーツ大会やスポーツイベントを開催、もしくは団体の開催支援を行っています。

本市主催、スポーツ団体主催のものをあわせて45種開催し、参加者数は計18,679人となっており（平成27年度）、増加傾向です。

【スポーツ大会・イベントの開催数・参加者数】

大会・イベントの区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市主催の市民大会等	事業数(種)	2	1	2	2	3	3
	参加者数(人)	4,277	726	3,741	4,470	4,766	4,587
スポーツ推進委員関係	事業数(種)	6	6	6	5	5	6
	参加者数(人)	3,766	3,126	2,960	2,353	2,688	2,786
	参加団体・組(チーム・組)	106	120	141	120	-	-
四日市市体育協会関係	事業数(種)	12	12	12	13	13	13
	参加者数(人)	4,032	4,011	4,674	4,936	4,423	4,462
四日市市 レクリエーション協会関係	事業数(種)	8	8	8	8	8	8
	参加者数(人)	1,217	1,164	1,112	1,419	1,900	2,039
	参加団体・組(チーム・組)	85	68	81	82	-	-
少年スポーツ大会	事業数(種)	8	8	8	8	8	8
	参加者数(人)	3,176	3,113	3,132	2,828	2,680	2,424
総合型 地域スポーツクラブ関係	事業数(種)	1	1	1	1	6	7
	参加者数(人)	336	294	391	355	1,263	1,990
合計	事業数(種)	37	36	37	37	43	45
	参加者数(人)	16,804	12,434	16,010	16,361	17,720	18,288
	参加団体・組(チーム・組)	191	188	222	202	-	-

※参加者数は、平成25年度以前は大会・イベントによって人数・団体数のどちらかで把握していたため、それぞれ掲載しています。

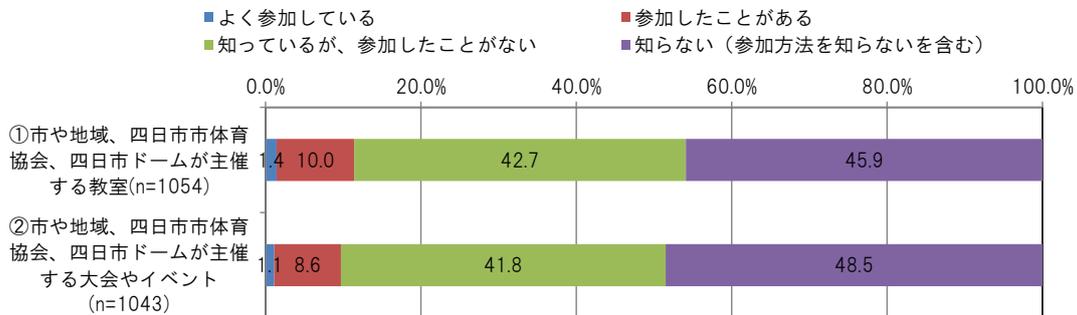
2) スポーツ教室・イベントに対する市民の意識〔市民向けアンケート調査より〕

①スポーツ教室・イベントの参加状況

市民向けアンケート調査によると、本市の公共や地域主催のスポーツ教室に関しては、「よく参加している」と「参加したことある」を合わせて約1割となっており(11.4%)、「知らない」が最も高くなっています。

公共や地域主催のスポーツイベントでも同様の傾向がみられます。

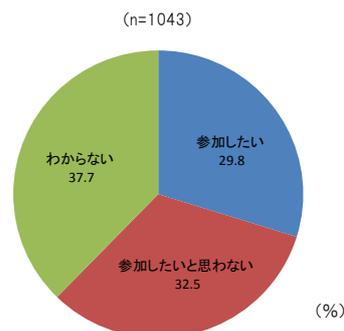
【公共主催のスポーツ教室・イベントに対する認識】



②スポーツ教室への参加希望

自身に適した公共や地域主催の教室があった場合の参加希望については、「参加したい」が約3割となっています(29.8%)。

【公共主催のスポーツ教室への参加希望】

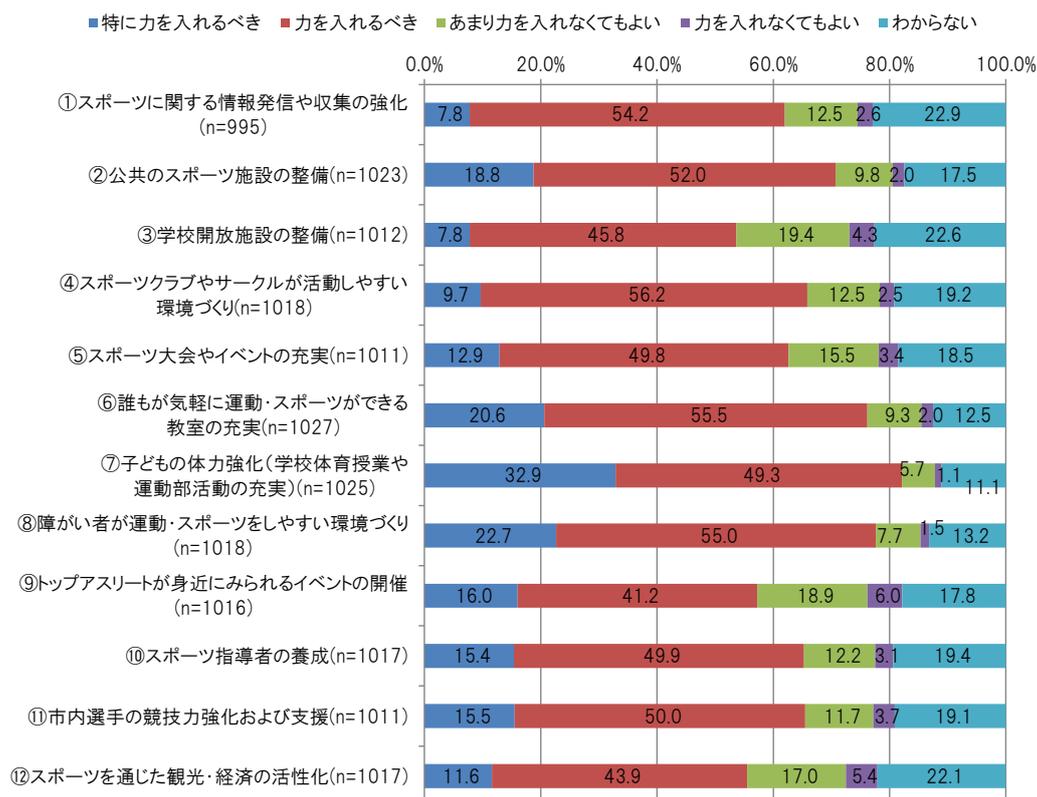


(9) 市のスポーツ推進についての意見

1) 市民からの意見 [市民向けアンケート調査より]

市民向けアンケート調査によると、今後の本市のスポーツ振興についての考えをテーマ別に尋ねた結果では、「子どもの体力強化（学校体育授業や運動部活動の充実）」、「障がい者が運動・スポーツをしやすい環境づくり」「誰もが気軽に運動・スポーツができる教室の充実」「公共のスポーツ施設の整備」において充実を求める意見が特に高くなっています。

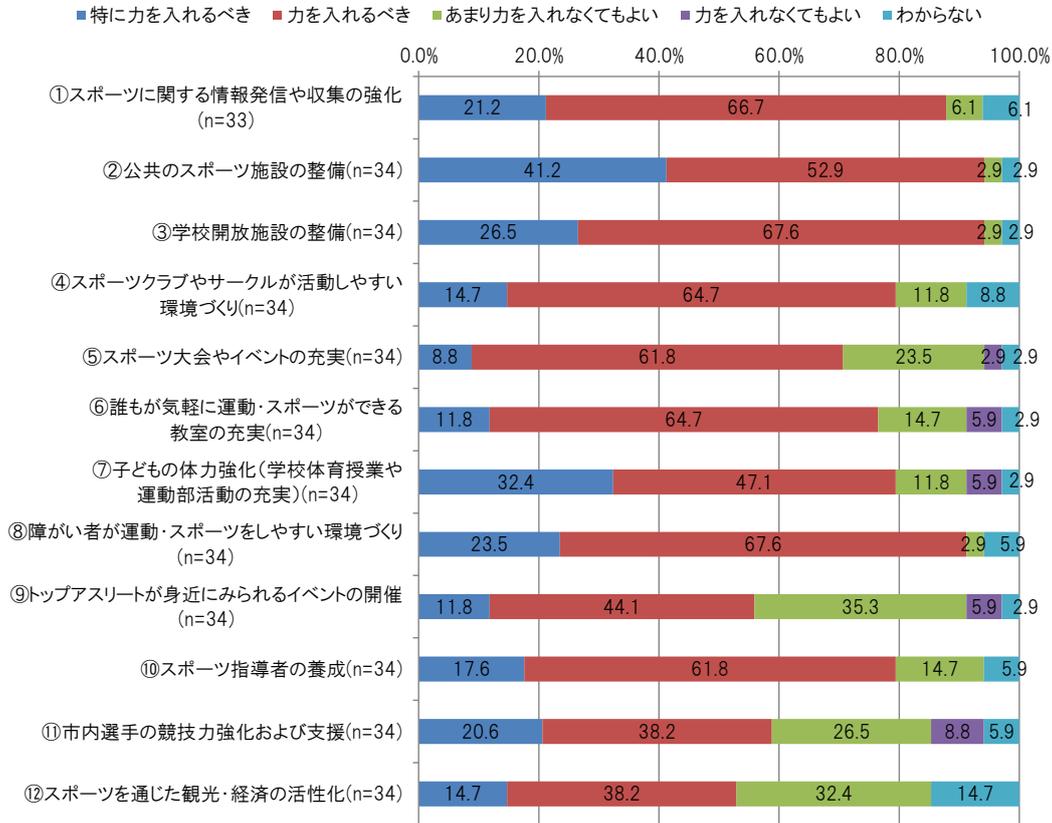
【今後のスポーツ振興についての考え（市民）】



2) スポーツ推進委員からの意見〔スポーツ推進委員向けアンケート調査より〕

スポーツ推進委員向け調査によると、「公共のスポーツ施設の整備」、「学校開放施設の整備」、「障がい者が運動・スポーツをしやすい環境づくり」「スポーツに関する情報発信や収集の強化」において充実を求める意見が特に高くなっています。

【今後のスポーツ振興についての考え（スポーツ推進委員）】



第3章 スポーツ推進の基本的な考え方

(1) 目標像

スポーツで元気になるまち 四日市
～市民の誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」
スポーツに親しむことができる活力あるまちを目指して～

市民の誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」それぞれの目的（健康、生涯スポーツ、競技スポーツ等）に応じて、様々なかたちでスポーツに親しむことを通じて、生涯にわたって活力ある生活を実現することができることを願い、「スポーツで元気になるまち 四日市 ～市民の誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる活力あるまちを目指して～」を目標像とします。

(2) 基本政策

本計画の対象期間である平成 29 年度から平成 33 年度までの 5 年間には、平成 30 年のインターハイや平成 33 年の「三重とこわか国体」の本市での開催が予定されており、それらの会場となる予定の中央緑地及び霞ヶ浦緑地において大規模な施設整備を行っていきます。また、平成 32 年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、この 5 年間は、市民がよりスポーツに親しむ機会が増え、本市にとってスポーツを推進していく絶好の機会となります。

これらのスポーツイベントによるスポーツに対する意識の高まりを一過性のものとして終わらせることなく、スポーツを通じた健康づくり、体力づくり、地域活性化等を推進する取組を継続して実施していきます。

目標像である「スポーツで元気になるまち 四日市」を実現するため、市は市民、スポーツ関連団体、事業者と相互に協力して、以下の基本政策の実現に努めます。

- I スポーツを通じた健康長寿社会の創生
- II 競技水準の向上、スポーツを支える環境の充実
- III インターハイ・国体開催を契機とした地域活性化の推進

(3) 基本方針

本計画では、3つの基本政策「スポーツを通じた健康長寿社会の創生」「競技水準の向上、スポーツを支える環境の充実」「インターハイ・国体開催を契機とした地域活性化の推進」に基づき、施策を推進する姿勢として、以下の5つの基本方針を定めます。

基本方針1 生涯スポーツの推進、スポーツを通じた健康の保持増進

市民が、生涯にわたり体力、年齢、技術、目的等に応じてスポーツに親しむことができるよう、世代やニーズに合った様々なスポーツ活動の機会や場を充実し、スポーツ活動を推進します。

また、心身両面にわたる健康の保持増進のために、スポーツ関連団体等と協力してスポーツ大会や各種教室の開催等健康に繋がるスポーツができる環境整備を進めます。

基本方針2 競技水準・子どもの体力の向上

競技水準の向上に向け、競技団体や選手に対し支援をするとともに、学校体育や運動部活動の充実により、運動に興味を持つ子どもを育て、体力の向上を図ります。

基本方針3 指導者の確保及び育成

生涯スポーツの振興や競技水準の向上のために、スポーツ指導者の育成・支援を図ります。また、「三重とこわか国体」等の開催に向けて、市民ボランティアの養成・活用を図ります。

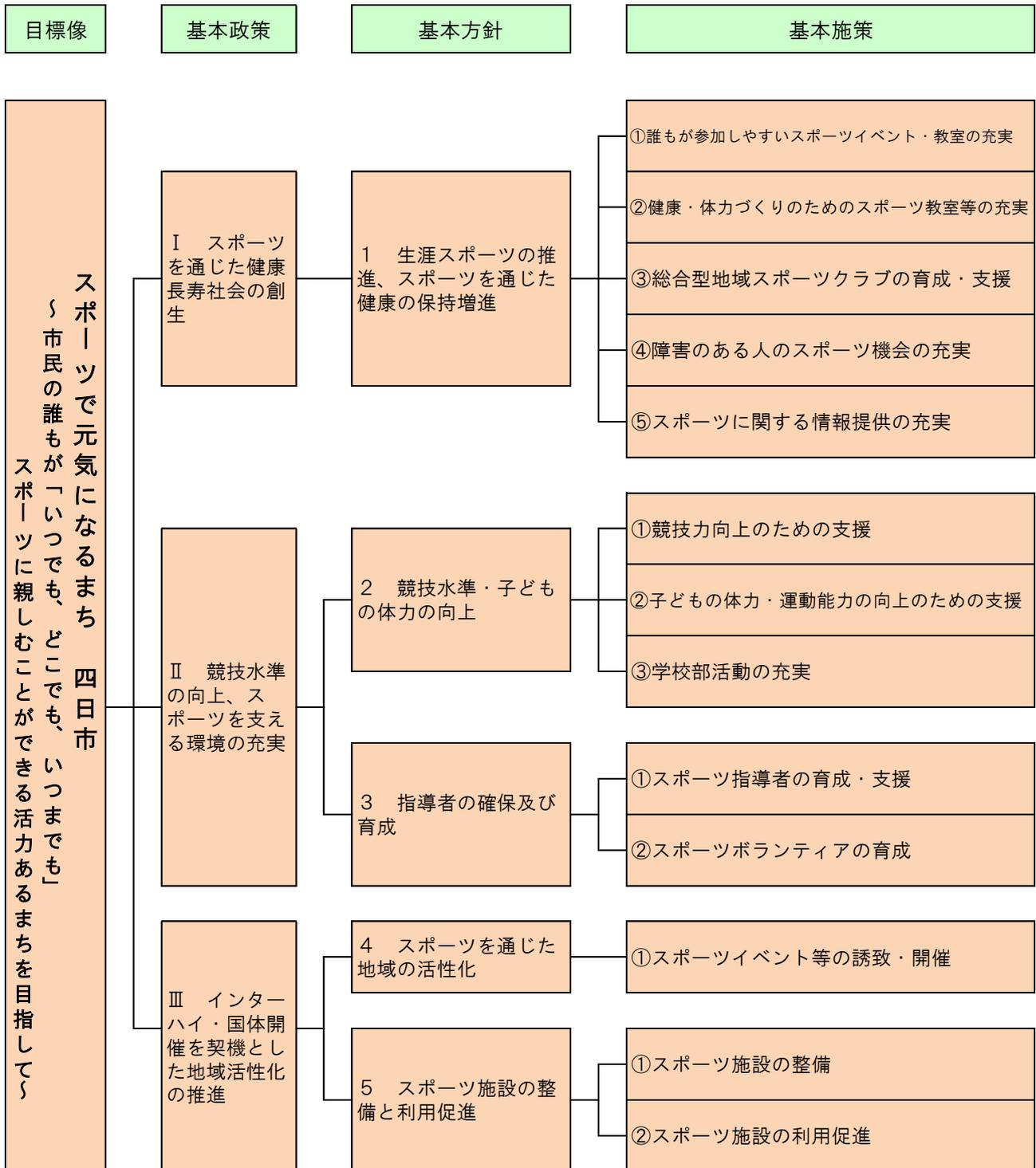
基本方針4 スポーツを通じた地域の活性化

トップレベルのスポーツ大会等の開催は、本市のスポーツ振興を図るとともに、地域の活性化や経済効果等が大いに期待できることから、スポーツイベント等の誘致に向けて積極的に取り組みます。

基本方針5 スポーツ施設の整備と利用促進

平成30年のインターハイ、平成33年の「三重とこわか国体」の開催に向けて、スポーツ施設の整備・改修を進めていくとともに、施設の利便性を図り利用促進に努めます。

【施策の体系】



【成果指標一覧】

基本方針	項目	現状	目標
1 生涯スポーツの推進、スポーツを通じた健康の保持増進	市民の週1回以上の運動・スポーツの実施率	49.9% (平成28年度)	65% (平成33年度)
	スポーツイベント・教室の参加人数	23,530人 (平成27年度)	25,000人 (平成33年度)
2 競技水準・子どもの体力の向上	全国大会等出場選手激励金の交付延べ人数	1,204人 (平成27年度)	1,300人 (平成33年度)
	体力テストの総合評価(A~Eの5段階)で3段階以上(A~C)の児童生徒の割合	小学生男子 67.4%	75%
		小学生女子 74.0%	75%
		中学生男子 72.7%	75%
		中学生女子 89.8%	90%
(平成28年度)	(平成32年度)		
3 指導者の確保及び育成	過去1年間にスポーツ指導またはスポーツに関するボランティア活動を行った割合	5% (平成28年度)	10% (平成33年度)
4 スポーツを通じた地域の活性化	直接、競技場などでスポーツを観戦した割合	27.5% (平成28年度)	35% (平成33年度)
	スポーツ関連のコンベンション事業推進補助金の活用件数	9件 (平成27年度)	20件 (平成33年度)
5 スポーツ施設の整備と利用促進	スポーツ施設利用者数	1,010,584人 (平成27年度)	1,300,000人 (平成33年度)

第4章 施策の展開

(1) 基本方針1 生涯スポーツの推進、スポーツを通じた健康の保持増進

1) 現状と課題

本市では、様々な年代を対象としたスポーツ大会やスポーツ教室等を開催し、市民のスポーツ機会の充実を図っています。しかし、市民アンケートでは4人に1人がスポーツをこの1年間全く行っていない状況（P6参照）であり、その理由として「忙しいから」「機会がないから」が多く挙げられ、市民が自身のライフスタイルに合わせて、身近にスポーツに親しむ機会を充実させていくことが今後の課題と考えられます。

市民が、生涯にわたり体力、年齢、技術、目的等に応じてスポーツに親しむことができるよう、世代やニーズに合った様々なスポーツ活動の機会や場を充実し、スポーツ活動を推進します。

また、スポーツを実施することにより、体力の向上、生活習慣病の予防等心身の健康の保持増進に効果があるとされていることから、市民のスポーツ活動を通じた健康の保持増進、疾病予防、介護予防等のための健康づくりを推進するため、スポーツ関連団体等と協力してスポーツ大会や各種教室を開催します。

2) 成果指標

項目	現状	目標
市民の週1回以上の運動・スポーツの実施率	49.9% (平成28年度)	65% (平成33年度)
スポーツイベント・教室の参加人数	23,530人 (平成27年度)	25,000人 (平成33年度)

基本施策1-① 誰もが参加しやすいスポーツイベント・教室の充実

市民にスポーツに取り組むことができる機会を提供し、健康づくりや技術のレベルアップを手助けしていくことが重要です。その観点から、子どもから大人まで誰もが参加できる大会・イベントを様々な団体と連携して開催し、スポーツを楽しむとともにスポーツを行うきっかけづくりに努めます。

主な取組	取組の概要	担当課
四日市市民スポーツフェスタ、四日市市レクリエーション大会、各種市民スポーツ大会の開催	スポーツ推進委員・体育協会・レクリエーション協会と連携して市民に参加しやすい大会を開催します。また、参加者の増加に繋がる工夫も行っています。	スポーツ課
四日市シティロードレース大会の開催	小中学生から生涯スポーツとして取り組むランナーまで、日頃の練習の成果を発揮できる場を提供します。 ※中央緑地の整備工事によりトリムコース（※）が使用不可となるため、平成29～30年度は休止を予定	スポーツ課

主な取組	取組の概要	担当課
四日市サイクルスポーツフェスティバル（※）の開催	青少年の自転車競技への関心を高めるとともに、スポーツの全国大会開催を通じて地域の活性化を図ります。	観光・シティプロモーション課
ファミリーロゲイニング（※）大会の開催	スポーツ実施率が比較的低い子育て世代をターゲットとした、家族で取り組めるアウトドアスポーツのロゲイニング大会を開催します。また、総合型地域スポーツクラブと連携し、普及を図ります。	スポーツ課
四日市ウォーキング大会・市民ウォーキング大会、グラウンドゴルフ大会の開催	スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブと連携して高齢者に人気のある（下表参照）ウォーキング大会やグラウンドゴルフ大会を開催します。	スポーツ課
スポーツ教室の充実	スポーツ施設及び四日市ドームにおいて、指定管理者と連携して世代やニーズに合った様々な魅力あるスポーツ教室を開催します。また、特にスポーツ実施率が比較的低い働いている世代が参加しやすい日程での教室を充実します。	スポーツ課
高齢者大運動会の補助	高齢者の健康保持や地域内の老人クラブ間の交流等を目的として四日市老人クラブ連合会が開催する高齢者大運動会の事業費を補助します。	介護・高齢福祉課

【この1年間で実施したことがある運動・スポーツの種目（年代別上位3位）】

年代	1位	2位	3位
60歳代	ウォーキング	体操(ラジオ体操を含む)	室内トレーニング運動
70歳以上	ウォーキング	体操(ラジオ体操を含む)	グラウンドゴルフ、ゲートボール

資料：四日市市のスポーツに関するアンケート調査（市民向け）・平成28年



市民スポーツフェスタ ウォーキング

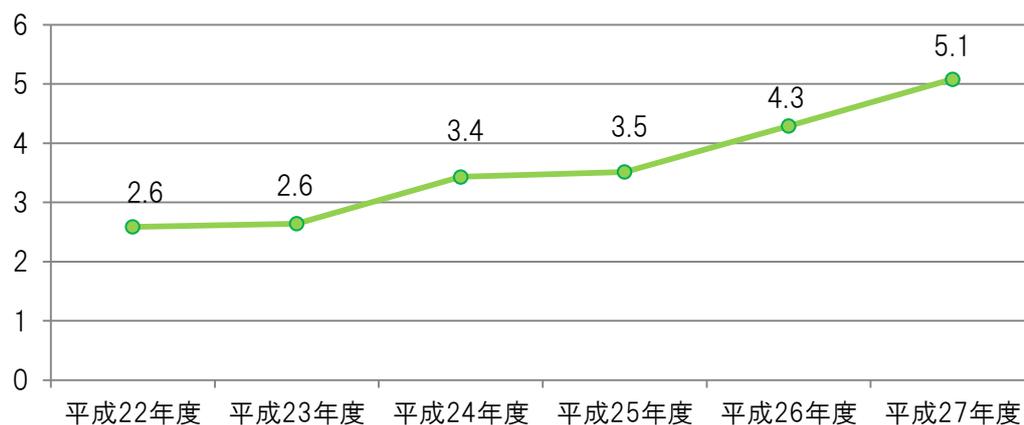
基本施策1-② 健康・体力づくりのためのスポーツ教室等の充実

市民の体力維持・向上のため、健康に主眼をおいたヨガ・ストレッチ等の教室や軽スポーツを気軽に体験できる教室をスポーツ施設の指定管理者と連携して開催していきます。また、市民が生活に運動を取り入れ、健康づくりや介護予防に取り組めるよう、情報発信や人材育成に取り組みます。

主な取組	取組の概要	担当課
健康系スポーツ教室事業の開催	スポーツ施設及び四日市ドームにおいて、指定管理者と連携してヨガ・ストレッチ教室等健康に主眼をおいたスポーツ教室を開催します。	スポーツ課
地域での健康づくりの推進	健康づくりに取り組む機会を広げ、機運が高まるよう、健康ボランティア（※）を養成し、地域での健康づくりの普及や実践方法の伝達を推進します。	健康づくり課

【健康ボランティアによる活動の参加者数】

(万人)



健康ボランティアによる健康教室



ヨガ入門教室

基本施策1-③ 総合型地域スポーツクラブ*の育成・支援

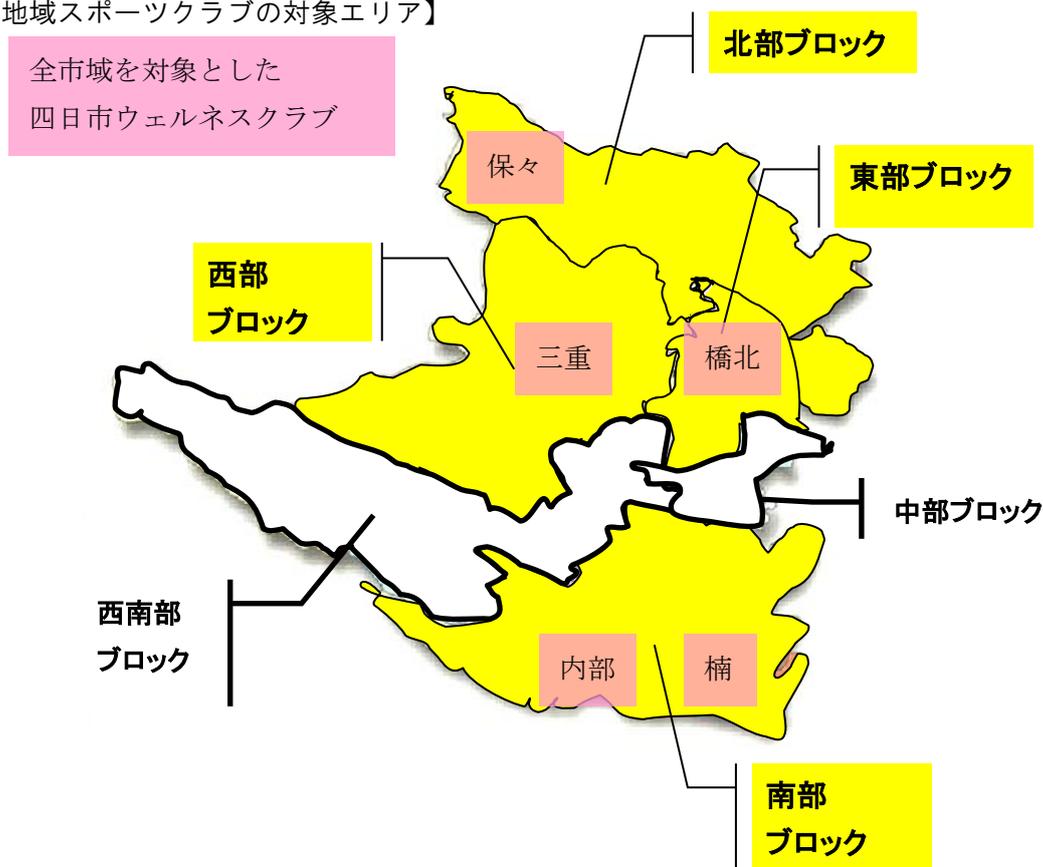
市内には以下のとおり6つの総合型地域スポーツクラブがあり、多種目・多世代参加型スポーツクラブとして、地域の特性を活かした、子どもから高齢者まで世代を超えた交流事業を展開し、地域コミュニティの活性化に貢献しています。

【四日市市内の総合型地域スポーツクラブ】

No.	クラブ名	会員数 (人)	教室数	イベント 数	サークル 数	設立年月日
1	四日市ウェルネスクラブ	558	40	24	0	平成15年6月10日
2	楠スポーツクラブ	1,368	32	20	36	平成16年4月22日
3	保々ふれあいスポーツクラブ	327	7	15	17	平成17年3月27日
4	スポーツクラブさんさん	1,033	7	36	37	平成18年7月2日
5	ビバ・橋北	387	3	14	28	平成19年3月25日
6	うつべ☆スター	538	15	12	30	平成22年6月25日

※平成28年3月31日現在

【総合型地域スポーツクラブの対象エリア】



文部科学省が平成 27 年に実施した「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」では、クラブが抱える課題の上位 3 項目は「会員確保」「財源確保」「指導者確保」となっています。

これらは、多くの総合型地域スポーツクラブが行政主導で設立された経緯から、設立当初の収入源を自治体からの補助金に依存していることや、加入を促進するために会費を低く抑えていること、十分な報酬が支払えないため指導者の確保ができないことなど、すべてクラブ運営に必要な財源に関係するものであると推測されます。また、「事務局員の確保」「拠点施設の確保」も全国共通の課題となっています。

こういった現状は、本市の既設クラブにも見られ、総合型地域スポーツクラブが設立されていない地域では、こうしたことがクラブ設立の高いハードルとなっており、地域住民による設立の動きが躊躇される状況にあります。

今後は、既設クラブが発展・充実していくための支援を行っていき、多くの市民に理解され、参加してもらえるよう努めます。そして、クラブ設立のメリットを示すことにより、クラブ設立の機運を高め、地域との連携など積極的にサポートを行っていきたいと考えています。

主な取組	取組の概要	担当課
総合型地域スポーツクラブ支援事業の開催	総合型地域スポーツクラブと連携して、会員増に繋がる市民を対象としたスポーツ教室やスポーツ大会を開催します。	スポーツ課
四日市ウォーキング大会、グラウンドゴルフ大会の開催 【再掲】	総合型地域スポーツクラブと連携して、ウォーキング大会やグラウンドゴルフ大会を開催します。	スポーツ課



スポーツクラブさんさん 空手道講演・講習会



楠スポーツクラブ 小学生陸上教室

基本施策1-④ 障害のある人のスポーツ機会の充実

障害のある人にとってのスポーツの意義は、障害の進行の予防、リハビリテーション、更には外出機会の増加や地域とのつながりの確保など、豊かなライフスタイルの獲得に繋がります。誰もがスポーツを楽しめる社会を実現するため、障害者スポーツの普及促進、環境整備等障害者スポーツ施策の推進に努めます。

主な取組	取組の概要	担当課
障害者スポーツの普及事業の実施【新規】	障害者団体をはじめ、様々な団体と連携しながら、障害のある人もない人も共に楽しみ、参加できる障害者スポーツの普及事業を開催します。	障害福祉課 スポーツ課
スポーツ・レクリエーション大会の補助	障害のある人の社会参加を促進し、健康で文化的な生活を営むため、スポーツ・レクリエーション大会の補助等スポーツ・レクリエーションの振興に努めます。	障害福祉課
施設利用料の減免	日頃スポーツをする機会の少ない障害のある人に、健康の増進や体力の増強をしていただくために、スポーツ施設の利用料を減免します。	スポーツ課 障害福祉課
スポーツ施設のバリアフリー化の推進	障害のある人のスポーツの機会を広げるため、「する」「観る」の視点でのスポーツ施設のバリアフリー化の状況を把握するとともに、新施設や未対応の施設についてバリアフリー化を進めます。	スポーツ課 国体推進課



ボッチャ（※）練習会

基本施策 1-⑤ スポーツに関する情報提供の充実

市民のスポーツ参加へのきっかけづくりやスポーツ活動を推進するため、広報紙やホームページを活用し、各種スポーツイベントやスポーツ施設等、スポーツに関する情報提供の充実に努めます。

主な取組	取組の概要	担当課
スポーツ情報の積極的発信	指定管理者と連携を図り、広報よっかいちや市のホームページでスポーツイベントや教室、施設の利用方法や利用状況、バリアフリー化状況、選手の活躍等スポーツに関する情報の積極的な発信に努めます。また、SNS（※）を活用した情報発信の充実も検討します。	スポーツ課
公共施設案内・予約システムの充実	スポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、インターネットからの施設予約について利便性の向上やシステムの周知を図ります。	スポーツ課
「三重とこわか国体」ホームページの開設 【新規】	本市で開催される競技の紹介や実行委員会の活動状況等、「三重とこわか国体」の情報をホームページで発信し、PRに努めます。	国体推進課



三重とこわか国体

第76回国民体育大会 ときめいて人 かがやいて未来 2021

(2) 基本方針2 競技水準・子どもの体力向上

1) 現状と課題

本市出身の選手や本市にゆかりのある選手が、世界や全国の舞台で活躍することは、多くの市民に夢や感動、誇りと勇気を与えます。また、そのことは市民にスポーツへの関心や参加意欲を促し、市民スポーツの振興に大いに貢献するものと考えます。

競技水準の向上に主体的な役割を担っていただく競技団体や全国大会等に出場する選手に対し支援をするとともに、スポーツ少年団の支援や小学生を対象とした各種スポーツ大会の開催支援等により、競技人口の裾野拡大に取り組んでいきます。

また、国際大会や全国大会で優秀な成績を収めた選手の顕彰を行い、競技意欲の向上を図る取組を行っています。

2) 成果指標

項目	現状	目標	
全国大会等出場選手激励金の交付延べ人数	1,204人 (平成27年度)	1,300人 (平成33年度)	
体力テストの総合評価(A~Eの5段階)で3段階以上(A~C)の児童生徒の割合	小学生	男子 67.4%	75%
		女子 74.0%	75%
	中学生	男子 72.7%	75%
		女子 89.8%	90%
	(平成28年度)	(平成32年度)	



市長表敬訪問



福井烈のテニス教室

基本施策 2-① 競技力向上のための支援

競技力の向上を目的として、本市選手の全国・広域なスポーツ大会への参加を支援するとともに、競技種目団体の活動を支援し、競技スポーツの人口の拡大を図ります。

主な取組	取組の概要	担当課
本市国体開催種目のPR及び競技力向上【新規】	体育協会と連携して、本市でのインターハイや「三重とこわか国体」開催種目を中心にスポーツ教室、実技講習会、市民大会等を開催し、それぞれの開催機運を高めるとともに競技力向上に繋がります。	スポーツ課
全国大会等出場選手激励金（スポーツ激励金）による支援	国際大会や全国大会に出場する選手に対して、激励金を交付し活動を支援します。	スポーツ課
四日市市体育協会加盟種目団体への補助	体育協会を通じて、各種目団体やスポーツ少年団の活動の支援を行い、競技力向上や競技人口の拡大を図ります。	スポーツ課
スポーツ顕彰制度の充実	全国大会等で優秀な成績を収めた選手に対して「スポーツ栄光賞」「スポーツ奨励賞」の表彰を行い、競技意欲の向上を図ります。	スポーツ課
市長表敬訪問による情報発信	全国大会等に参加または優秀な成績を収めた選手が市長表敬訪問に来た際などには、その情報を積極的に発信します。	スポーツ課
美し国三重市町対抗駅伝（※）本市代表チームの支援	県内29市町の振興を目的に開催される美し国駅伝に出場する本市代表チームの選考会や練習会を開催するなど活動を支援します。	スポーツ課
事業者が有するスポーツチームとの連携【新規】	本市を拠点としてプロを目指すチーム等と連携を図り、スポーツ教室の開催等市民に親しまれる活動を支援します。	スポーツ課
民間活力の有効活用の検討【新規】	新たに整備するスポーツ施設への広告等の民間資金を活用したトップアスリートの育成・支援や民間施設等の有効活用を検討します。	スポーツ課

基本施策2-② 子どもの体力・運動能力の向上のための支援

子どもが自己の体力や生活に応じた体力向上を図るための実践力を身に付け、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培えるよう、子どもたちにスポーツに親しむ機会を提供します。また、学校体育の授業を改善することによって、十分な運動量を確保し、体力・運動能力の向上を図ります。

主な取組	取組の概要	担当課
トップアスリートによるスポーツ教室の開催	トップアスリートによるスポーツ教室の開催を通じて、子どもたちにスポーツの楽しさや魅力を知ってもらおうとともに、ジュニア世代の競技力強化及びスポーツの普及・振興を図ります。また、平成28年度から実施しているボールゲームフェスタ（※）では小学生を対象に4種目のボール競技の体験を通じ、スポーツの楽しさ・魅力を再発見してもらいます。さらに、ふるさと選手によるスポーツ教室や講演会等も実施します。	スポーツ課
少年スポーツ大会の開催	学童水泳大会や学童野球大会等小学生を対象としたスポーツ大会を実施します。	スポーツ課
スポーツ少年団への支援の検討	本市におけるスポーツ少年団の団数、団員数はともに大きく減少する傾向にあります。その原因を把握し、減少を食い止める方策を検討します。	スポーツ課
アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）（※）の導入 【新規】	日本体育協会が普及を進めている子どもたちが楽しみながら積極的にからだを動かす運動プログラムについて、研修会等に参加することで情報収集を行い、関係各課と調整し導入を進めます。	スポーツ課
学校体育の充実	四日市市運動能力・体力向上推進委員会が作成した「授業はじめの5分間運動」（※）に引き続き取り組んでいきます。また、教職員への実技研修会の開催や、誰もが楽しめる場づくり、適切な運動量の確保、子どもどうしによる学びあいのある体育科授業の充実を図ります。	指導課

【トップアスリートによるスポーツ教室の実績】

年度	教室内容	参加者数（人）
平成 23 年度	小椋久美子のバドミントン教室	90
平成 24 年度	相好体操クラブの体操教室	23
平成 25 年度	上野順恵の柔道教室	98
平成 26 年度	名古屋グランパスのサッカー教室	96
	福井烈のテニス教室	91
平成 27 年度	日本リーグ参加チームのハンドボール教室	118
	名古屋グランパスのサッカー教室	101
	新体操教室	52
	福井烈のテニス教室	63
平成 28 年度	ボールゲームフェスタ（日本トップリーグ連携機構との共催）	214
	名古屋グランパスのサッカー教室	61
	福井烈のテニス教室	67

基本施策 2-③ 学校部活動の充実

中学校の部活動は、スポーツに親しむ観点や教育的側面での意義が高いものであり、その活動の成果を発表する場として開催される中学校体育大会の事業費や全国大会等に出場する選手の活動を支援します。また、運動部活動において適正な指導ができる指導者の確保が困難になってきていることから、部活動指導員の派遣について検討していきます。

主な取組	取組の概要	担当課
三重県中学校体育連盟三泗支部への補助	市内の中学生が日頃の部活動の練習成果を確かめる大会として位置付けられる三重県中学校総合体育大会やスポーツ教室の事業費を補助します。	スポーツ課
中学校体育大会出場選手奨励金による支援	中学校体育大会の全国大会・東海大会・県大会に出場する選手に対して、奨励金を交付し活動を支援します。	スポーツ課
部活動指導員の派遣の検討	部活動を充実させるため、地域のスポーツ指導者を活用していくなど部活動指導員の派遣について検討を進めます。	指導課 スポーツ課

(3) 基本方針3 指導者の確保及び育成

1) 現状と課題

市民のスポーツ活動の推進、特に生涯スポーツの振興や競技水準の向上のためには、指導者の育成・確保は不可欠です。今日、市民のスポーツ活動へのニーズが高度化・多様化する中、質の高い技術・技能を有するスポーツ指導者が求められています。

地域スポーツの推進役やコーディネーターとして期待されるスポーツ推進委員の活動を支援するとともに、各種目団体のスポーツ指導者の育成を支援し、競技スポーツ指導者の質の向上を図ります。また、平成33年に開催される「三重とこわか国体」に向けて、市民ボランティアの養成・活用を図ります。

2) 成果指標

項目	現状	目標
過去1年間にスポーツ指導またはスポーツに関するボランティア活動を行った割合	5.0% (平成28年度)	10% (平成33年度)

基本施策3-① スポーツ指導者の育成・支援

地域で生涯スポーツ等を指導するスポーツ推進委員や競技スポーツの指導者等、多様なスポーツニーズに応じた指導者を育成し、その活動を支援します。

主な取組	取組の概要	担当課
スポーツ推進委員の活動支援	スポーツ推進委員の確保に向けて、公募を実施するほか、自主的な運営による普及活動や研修会への参加活動を支援します。また、障害者スポーツ指導者資格を取得する活動を支援します。	スポーツ課
スポーツ指導者資格取得助成金による支援 (平成27年度～)	スポーツ指導者の養成と資質の向上及びジュニア層のスポーツ活動環境の向上を図るため、各種指導者資格の取得経費を補助します。	スポーツ課
スポーツ顕彰制度の充実	永年にわたり地域スポーツの普及・発展に貢献された方に対して、「スポーツ功労賞」「スポーツ有功賞」の表彰を行います。	スポーツ課



スポーツ推進委員主管タスポニー大会



市民スポーツフェスタでの功労者表彰

基本施策 3-② スポーツボランティアの育成

平成 33 年の「三重とこわか国体」開催に向けて、「支える」スポーツへの意識を醸成させていくことが必要であると考えられます。市民アンケートでは、約 30%の方がスポーツに関するボランティアを行いたいと回答しており（P11 参照）、潜在化している市民の参加意欲に応え、また、自主的な活動を支援していく必要があります。

主な取組	取組の概要	担当課
スポーツボランティアの養成	四日市シティロードレース大会等の受付や給水所等のランナーのサポートを行う大会ボランティアを募集し、養成します。	スポーツ課
国体ボランティアの養成 【新規】	「三重とこわか国体」の開催には、競技会運営補助、情報支援等多くのボランティアの協力が必要となります。三重県や種目団体と連携してこうしたボランティアを募集し、養成します。	国体推進課



四日市シティロードレース受付ボランティア

(4) 基本方針4 スポーツを通じた地域の活性化

1) 現状と課題

トップレベルのスポーツ大会やプロスポーツ（※）等の開催は、「観る」スポーツとして、子どもたちに夢や感動を与え、幅広い年齢層のスポーツへの関心を高めることで、本市のスポーツ振興を図るとともに、地域の活性化や経済効果等が大いに期待できることから、スポーツイベント等の誘致に向けて積極的に取り組みます。

2) 成果指標

項目	現状	目標
直接、競技場等でスポーツを観戦した割合	27.5% (平成28年度)	35% (平成33年度)
スポーツ関連のコンベンション（※）事業推進補助金の活用件数	9件 (平成27年度)	20件 (平成33年度)

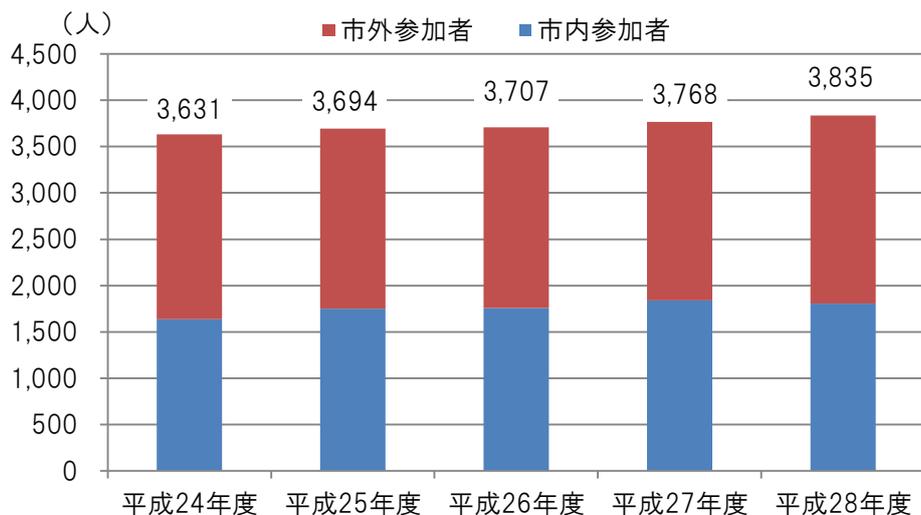
基本施策4-① スポーツイベント等の開催・誘致

「三重とこわか国体」や東京オリンピック・パラリンピック開催といった機会を活かし、スポーツイベント等の開催・誘致等に取り組み、まちなぎわいを創出します。

主な取組	取組の概要	担当課
四日市シティロードレース大会の開催【再掲】	市内外から多くのランナーが集まる市内最大のスポーツイベントであり、本市の魅力を発信し、地域の活性化を図ります。	スポーツ課
四日市サイクルスポーツフェスティバルの開催【再掲】	青少年の自転車競技への関心を高めるとともに、スポーツの全国大会開催を通じて地域の活性化を図ります。	観光・シティプロモーション課
プロ野球ウエスタンリーグ公式戦の開催	プロスポーツの醍醐味を身近に味わうことのできるイベントを支援し、スポーツ振興と地域の活性化を図ります。	スポーツ課
インターハイ・国体等全国大会等のスポーツイベントの開催・誘致	インターハイ・「三重とこわか国体」の開催に向け、広報・啓発に努め、市民の機運醸成や観戦者の増加を図ります。また、今後、中央緑地や霞ヶ浦緑地に新施設を整備し、同一種目の施設の集中配置を図ることにより、全国大会等のスポーツイベント開催を優位に運べることから、大会の誘致に積極的に取り組みます。	スポーツ課 国体推進課

主な取組	取組の概要	担当課
東京オリンピック事前キャンプの実施	平成28年10月、中央緑地に新たに整備する体育館が、カナダ体操チームのオリンピックの事前キャンプ地として決定したことから、新施設完成後には市民との交流事業も含め、事前キャンプの実施に取り組んでいきます。	国体推進課
コンベンション事業推進補助金の活用	一定規模以上のコンベンション（スポーツ大会を含む）を開催する場合に、主催者に対して会場使用料を補助することにより、来訪者を増やし地域の活性化を図ります。	観光・シティプロモーション課
スポーツコミッション（※）設立の検討 【新規】	スポーツを通じてまちづくりや地域の活性化を図るため、市、スポーツ関連団体及び事業者等が連携・協働するスポーツコミッションの設立の検討をします。	スポーツ課 観光・シティプロモーション課

【四日市シティロードレース大会参加者数の推移】



四日市シティロードレース



四日市サイクルスポーツフェスティバル

(5) 基本方針5 スポーツ施設の整備と利用促進

1) 現状と課題

本市のスポーツ施設の多くは、昭和50年の三重国体開催にあわせて整備されており、老朽化をはじめ、規模・機能の面で多くの課題を抱えています。また、平成30年のインターハイや平成33年の「三重とわか国体」の開催に向けて、必要となるスポーツ施設の整備・充実を図っていくことが必要です。

こうしたことから、平成27年3月に、本市のスポーツ施設整備の基本的方針や具体的な整備計画を盛り込んだ「四日市市スポーツ施設整備計画」を策定し、これに基づき整備を進めていく必要があります。

さらに、スポーツを「する、観る、支える」立場から利用しやすい環境整備を行い、施設の利用促進を図ります

2) 成果指標

項目	現状	目標
スポーツ施設利用者数	1,010,584人 (平成27年度)	1,300,000人 (平成33年度)

基本施策5-① スポーツ施設の整備

「四日市市スポーツ施設整備計画」に基づき、新施設の整備や安全性・利便性の確保等必要性の高いものから既存施設の改修を行っていきます。

主な取組	取組の概要	担当課
中央緑地運動施設・霞ヶ浦緑地運動施設整備事業（国体関係分）	インターハイ・国体開催に向け、中央緑地に体育館・サッカー場を、霞ヶ浦緑地にテニスコート・野球場を新たに整備します。また、新体育館については、アリーナの分割での利用も可能にして、利用者の利便性の向上を図ります。	国体推進課
スポーツ施設整備事業（中央緑地運動施設ほか）	既存施設について、老朽化に伴う施設改修や指定管理者と連携して施設の機能維持を図ります。	スポーツ課
スポーツ施設のバリアフリー化の推進【再掲】	障害のある人のスポーツの機会を広げるため、「する」「観る」の視点でのスポーツ施設のバリアフリー化の状況を把握するとともに、新施設や未対応の施設についてバリアフリー化を進めます。	スポーツ課 国体推進課

【本市で開催予定のインターハイ・国体の競技一覧】

大会名	競技／種目	種別	会場	
平成30年 インターハイ (2競技)	サッカー	男子	中央緑地陸上競技場 中央緑地新サッカー場(仮称)	
	テニス	全種別	霞ヶ浦新テニスコート(仮称)	
			四日市ドーム ほか	
	平成33年 三重とこわか国体 (8競技)	サッカー	少年男子	中央緑地陸上競技場 中央緑地新サッカー場(仮称)
テニス		全種別	霞ヶ浦新テニスコート(仮称)	
			四日市ドーム	
体操		全種別	中央緑地新体育館(仮称)	
自転車		トラック・レース	全種別	四日市競輪場
軟式野球		成年男子	霞ヶ浦第1野球場	
			霞ヶ浦新野球場(仮称)	
カヌー		カヌースプリント	全種別	伊坂ダム特設カヌー競技場
空手道		全種別	中央緑地新体育館(仮称)	
ゴルフ		成年男子	四日市カンツリー倶楽部	

基本施策5-② スポーツ施設の利用促進

新たに整備するスポーツ施設については、大規模な大会での利用を促進するだけでなく、市民の利便性向上や利用しやすい料金体系の構築等、広く市民に利用していただける施設づくりを検討する必要があります。また、既存施設で一般利用の少ない区分については、スポーツ教室を展開するなど、施設の利用促進に努めます。

主な取組	取組の概要	担当課
学校施設開放の充実	身近にスポーツができる場である市内小中学校の施設開放については、活発に利用がされており、一部の学校において利用が飽和状態にあることから、グラウンドの夜間照明設置等学校体育施設の充実に向けた検討を行います。	スポーツ課
民間遊休施設の有効活用の検討 【新規】	民間企業等の体育館、運動場や倉庫等遊休施設の所有状況を把握し、市民が利用できるスポーツ施設としての活用を検討します。	スポーツ課
スポーツ教室の充実 【再掲】	アンケートにより市民ニーズを把握した上で、様々なスポーツ教室を展開し、施設の利用促進に努めます。	スポーツ課

(1) 四日市市みんなのスポーツ応援条例

四日市市みんなのスポーツ応援条例

みんながスポーツに親しむことができる生涯スポーツを推進し、スポーツを「する」、「観る」、「支える」ことにより、いつまでも健康であることの喜びを感じられることは、市民一人ひとりの生活の質や幸福度が高まるとともに、活力あるまちづくりの創生に大きくつながります。

スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成し、地域社会の活力向上に寄与する力を持っています。また、地元で育ったスポーツ選手の活躍は、みんなに夢、感動を届けるとともに、郷土への愛着を深め、一体感の醸成につながります。

さらに、スポーツは、健康の保持増進、体力や運動能力の向上はもとより、次代を担う子どもたちに体を動かす楽しさや喜び、爽快感や達成感をもたらすだけでなく、何事にもくじけない心や公正さと規律を尊重する精神を培い、他人に対する思いやりや感謝の心を育むなど、「心・技・体」が備わった人格の形成に大きく寄与します。

これらスポーツが持つチカラや可能性を理解し、市民等、スポーツ関連団体、事業者及び市が連携し、それぞれの役割を果たすことにより、スポーツを通じて活力のある四日市を築くため、ここに「四日市市みんなのスポーツ応援条例」を制定します。

(目的)

第1条 この条例は、スポーツの推進について、基本政策を定め、並びに市の責務、市民等、スポーツ関連団体及び事業者の役割を明らかにするとともに、スポーツの推進に関する施策の基本となる事項を定めることにより、スポーツの推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって市民等の「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる活力あるまちづくりの創生に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 市民等 本市の区域内に居住する者のほか、本市の区域内に存する事業所等に勤務する者及び本市の区域内に存する学校に通学する者をいう。
- (2) スポーツ関連団体 市内においてスポーツ関連活動を行う法人その他の団体（国及び地方公共団体を除く。）をいう。
- (3) 事業者 市内において事業活動を行うすべての者（スポーツ関連団体を除く。）をいう。
- (4) スポーツ活動 スポーツを「する」こと、「観る」こと又はこれらを「支える」ことをいう。
- (5) 地域スポーツコミッション スポーツをまちづくりや地域の活性化を図る手段のひとつと捉え、市、スポーツ関連団体、事業者等が連携及び協働して地域振興を目指すことを目的とした連携又は組織的な取組をいう。

(基本政策)

第3条 スポーツの推進によるまちづくりを総合的に実施するため、市民等、スポーツ関連団体、事業者及び市は、相互に協力して、次に掲げる基本政策の実現に努めるものとする。

- (1) スポーツを通じた健康長寿社会の創生
- (2) 地域スポーツとトップスポーツの好循環の推進
- (3) 地域スポーツコミッションの推進

(市の責務)

第4条 市は、この条例の目的を達成するため、スポーツの推進に関する施策を総合的に策定し、及び計画的に実施する責務を有する。

(市民等の役割)

第5条 市民等は、自主的なスポーツ活動を通じて、自らの健康の保持及び増進に努めるとともに、スポーツに関する施策に協力するよう努めるものとする。

(スポーツ関連団体の役割)

第6条 スポーツ関連団体は、自主的なスポーツ活動を通じて、スポーツに関する施策に協力するよう努めるものとする。

(事業者の役割)

第7条 事業者は、スポーツ活動を行いやすい環境の整備に努めるとともに、スポーツに関する施策に協力するよう努めるものとする。

(スポーツ推進計画の策定)

第8条 市は、スポーツの推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、スポーツの推進に関する基本的事項、具体的施策その他必要な事項を定めた計画（以下この条において「推進計画」という。）を定めるものとする。

2 市は、推進計画を定めようとするときは、市民等の意見を反映することができるよう必要な措置を講ずるものとする。

3 市は、推進計画を策定するに当たっては、四日市市スポーツ推進審議会の意見を聴くものとする。

(スポーツを通じた健康の保持増進)

第9条 市は、市民等のスポーツ活動を通じた健康の保持増進、疾病予防、高齢者の介護予防等のための健康づくりを推進するため、スポーツ関連団体及び事業者と協力して、スポーツ活動に関する情報の適切な提供その他の必要な施策を講ずるものとする。

(生涯スポーツの推進)

第10条 市は、全ての市民等が生涯にわたって、体力、年齢、技術、目的等に応じて、身近にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ活動に参加する機会の提供並びに地域のスポーツ活動及び地域スポーツクラブが行う地域におけるスポーツの推進に必要な施策を講ずるものとする。

(子どもの心身の健全な発達及びスポーツ活動の充実等)

第11条 市は、次代を担う子どもの心身の健全な発達及び体力の向上を図るため、科学的知見及び医学的知見を生かしたスポーツに関する知識の普及啓発、スポーツ教室の実施その他子どものスポーツ活動の充実に向けた取組の促進に関し必要な施策を講ずるものとする。

(競技水準の向上等)

第12条 市は、市のスポーツ選手及びスポーツチームの競技水準の向上を図るため、スポーツ関連団体等と協力して、競技会への派遣、研修会又は講習会の開催等による計画的な競技技術の向上及びその効果の十分な発揮を図る上で必要な施策を講ずるものとする。

2 市は、事業者が果たすスポーツの普及及び競技水準の向上に係る役割の重要性に鑑み、事業者が有

するスポーツチームとの連携及び民間活力の有効活用に努めるものとする。

(指導者の確保及び育成)

第13条 市は、スポーツの指導者その他スポーツの推進に寄与する人材(以下この条において「指導者等」という。)を確保し、及び育成するため、スポーツ関連団体等と協力して、研修会又は講習会の開催等指導者の育成及び資質の向上に必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

2 市は、指導者等及び優秀なスポーツ選手が、その有する能力を地域スポーツクラブ及び地域におけるスポーツ活動に生かすことができるよう、必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

3 市は、学校、スポーツ団体等の指導者等が相互に連携し、継続的かつ充実した指導を行うことができるよう、必要な施策を講ずるものとする。

(スポーツを通じた地域の活性化)

第14条 市は、スポーツを通じた地域の活性化を図るため、スポーツ関連団体及び事業者と協力して、あらゆる地域資源及び観光資源を活用し、各種のスポーツ大会及び競技会、スポーツイベント並びにプロスポーツの開催又は誘致に積極的に取り組むものとする。

(スポーツ施設の整備、利用促進等)

第15条 市は、市民等が身近にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設(スポーツの設備を含む。次項において同じ。)の整備、維持管理、利用の促進その他の必要な施策を講ずるものとする。

2 市は、前項の規定によりスポーツ施設を整備するに当たっては、当該スポーツ施設の利用の実態等に応じて、安全の確保を図るとともに、障害者等の利便性の向上を図るよう努めるものとする。

3 市は、市民等にとって身近なスポーツ活動の場の充実を図るため、学校その他の施設を容易に利用することができるよう必要な施策を講ずるものとする。

(顕彰)

第16条 市長及び議会は、市民等のスポーツに対する関心及びスポーツを行う意欲を高めるため、スポーツで顕著な成果を収めた者及び第3条に定める基本政策の実現に貢献したと認められる者を顕彰するものとする。

(条例の見直し)

第17条 市長は、この条例の施行から5年を超えない期間ごとに、検証を行い、必要と認めるときは、条例の改正その他の適切な措置を講ずるものとする。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、別に規則で定める。

附 則

この条例は、平成29年1月1日から施行する。

(2) 四日市市のスポーツに関するアンケート調査集計結果

※ここでは、アンケートの集計結果のうち、〈本編〉に掲載している以外のものを掲載します。

1) 市民向けアンケート調査

①回答者の属性

【性別】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	男性	485	44.3	44.9
2	女性	594	54.2	55.1
	無回答	16	1.5	
	N (%ベース)	1095	100.0	1079

【年代】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	20歳代	93	8.5	8.5
2	30歳代	131	12.0	12.0
3	40歳代	170	15.5	15.6
4	50歳代	182	16.6	16.7
5	60歳代	238	21.7	21.8
6	70歳以上	276	25.2	25.3
	無回答	5	0.5	
	N (%ベース)	1095	100.0	1090

【お住まいの地域】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	中部	73	6.7	6.7
2	富洲原	28	2.6	2.6
3	富田	47	4.3	4.3
4	羽津	50	4.6	4.6
5	常磐	85	7.8	7.8
6	日永	43	3.9	3.9
7	四郷	83	7.6	7.6
8	内部	66	6.0	6.0
9	塩浜	20	1.8	1.8
10	小山田	20	1.8	1.8
11	川島	46	4.2	4.2
12	神前	35	3.2	3.2
13	桜	61	5.6	5.6
14	三重	85	7.8	7.8
15	県	26	2.4	2.4
16	八郷	65	5.9	6.0
17	下野	35	3.2	3.2
18	大矢知	70	6.4	6.4
19	河原田	25	2.3	2.3
20	水沢	12	1.1	1.1
21	保々	25	2.3	2.3
22	海蔵	38	3.5	3.5
23	橋北	17	1.6	1.6
24	楠	36	3.3	3.3
	無回答	4	0.4	
	N (%ベース)	1095	100	1091

【職業】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	会社員(正社員・パート・アルバイト)	461	42.1	42.3
2	自営業・会社役員	107	9.8	9.8
3	公務員	43	3.9	3.9
4	学生	11	1.0	1.0
5	専業主婦(主夫)	231	21.1	21.2
6	無職	228	20.8	20.9
7	その他	10	0.9	0.9
	無回答	4	0.4	
	N (%ベース)	1095	100.0	1091

②回答結果

i) 運動・スポーツの1回あたりの実施時間

運動・スポーツを実施した人の実施時間（1回あたりの平均）は、30分以上が83.6%、60分以上が50.7%となっています。

男女別にみると、男性の方が、長い傾向がみられます。また、年代別にみると、実施率が比較的高い60歳代、70歳代では、60分未満の比較的短い時間の割合が高くなっています。

【運動・スポーツの実施時間（1回あたりの平均、男女別・年代別）】

単位：%	15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 90分未満	90分以上 120分未満	120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上	(再掲) 30分以上	(再掲) 60分以上
	全体(n=780)	6.8	9.6	32.9	23.1	10.4	9.0	0.9	7.3	83.6
男性(n=352)	4.5	8.2	27.6	25.0	13.1	10.2	0.9	10.5	87.3	59.7
女性(n=418)	8.4	11.0	36.8	21.8	8.1	8.1	1.0	4.8	80.6	43.8
20歳代(n=77)	7.8	10.4	33.8	23.4	11.7	5.2	1.3	6.5	81.9	48.1
30歳代(n=85)	7.1	12.9	29.4	20.0	5.9	14.1	1.2	9.4	80.0	50.6
40歳代(n=130)	7.7	12.3	21.5	32.3	3.8	10.8	0.8	10.8	80.0	58.5
50歳代(n=127)	7.1	9.4	37.8	27.6	7.9	7.1	0.0	3.1	83.5	45.7
60歳代(n=170)	5.9	8.8	33.5	18.8	16.5	10.6	0.6	5.3	85.3	51.8
70歳以上(n=186)	5.4	7.0	38.2	19.4	12.4	7.0	1.6	9.1	87.7	49.5

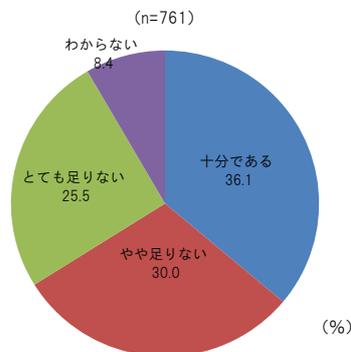
※数値での回答結果を修正したもの

ii) 実施時間についての満足度と十分に実施できない理由

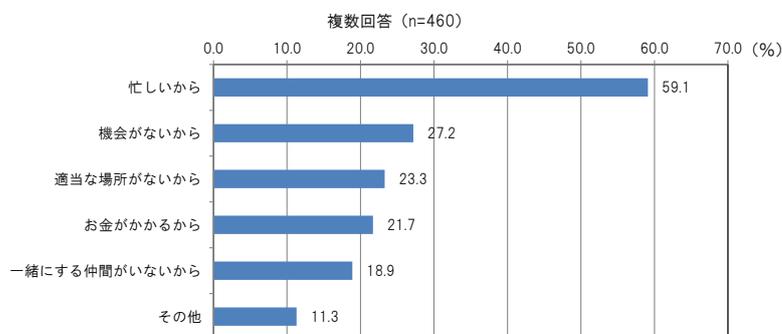
過去1年間に運動・スポーツを実施した人の実施時間に対する満足度は、「やや足りない」と「とても足りない」をあわせて、半数超（55.5%）となっています。

「やや足りない」や「とても足りない」と回答した人の、十分に運動・スポーツができていない理由は、「忙しいから」が最も高くなっており（59.1%）、「機会がないから（27.2%）」「適当な場所がないから（23.3%）」が続きます。

【実施時間についての満足度】



【十分に運動・スポーツができていない理由】



【その他の回答内容】

- ・身体的な理由のため
- ・高齢のため
- ・気分が乗らず、続かないため

iii) 運動・スポーツを実施する場所

運動・スポーツを実施している場所は、「路上（道路・歩道）」が最も高く（39.9%）、「民間のスポーツ施設（24.6%）」が次いで高くなっています。「その他」では、「自宅」との回答が多くみられました。

【運動・スポーツを実施している場所】



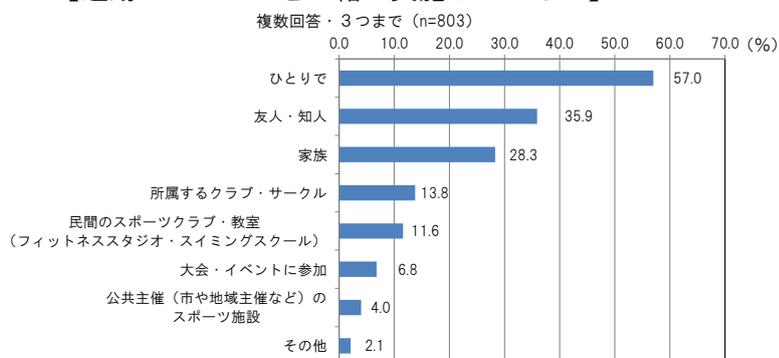
[その他の回答内容]

- ・ 自宅（家の中・庭）
- ・ ショッピングセンター
- ・ 伊坂ダム（サイクリングセンター）
- ・ 市民センター・集会所

iv) 運動・スポーツを一緒に実施する人

運動・スポーツを一緒に実施している人は、「ひとりで」が最も高く（57.0%）、「友人・知人」が次いで高くなっています（35.9%）

【運動・スポーツを一緒に実施している人】



[その他の回答内容]

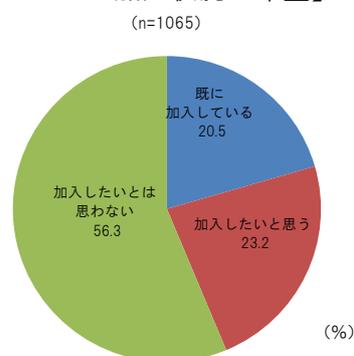
- ・ 職場の同僚
- ・ 地域の子供たち
- ・ 犬

v) スポーツクラブ・サークル・チーム、運動部への加入状況

a. 現在の加入状況

運動・スポーツのクラブやサークルの加入状況・希望は、「既に参加している」が約2割(20.5%)となっており、「参加したいと思う」は約2割(23.2%)となっています。

【スポーツクラブやサークル・チームへの加入状況・希望】

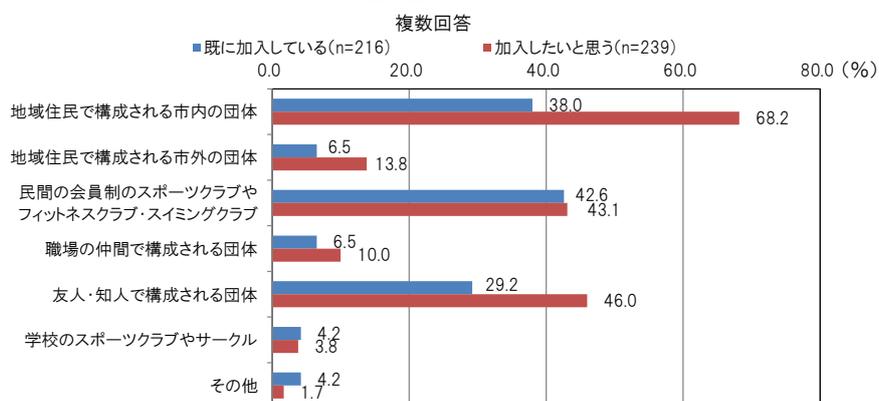


b. 参加している団体、参加したい団体

参加している人に対して、参加している団体の種類を尋ねた結果では、「民間の会員制のスポーツクラブやフィットネスクラブ・スイミングクラブ」が最も高く(42.6%)、「地域住民で構成される市内の団体」が次いで高くなっています(38.0%)。

参加したいと思う人に対して、参加したい団体の種類を尋ねた結果では、「地域住民で構成される市内の団体」が最も高くなっています(68.2%)。

【参加している団体・参加したい団体の種類】



[その他の回答内容]

・ 鉄道会社のハイキングクラブ

c. 加入していない理由、加入したくない理由

加入したいと思う人に対して、その理由を尋ねた結果では、「忙しいから」が最も高く（49.1%）、「身近に適した団体がないから（43.0%）」が次いで高くなっています。

加入したいとは思わない人にその理由を尋ねた結果では、「忙しいから」が最も高く（38.1%）、「人付き合いが面倒（そう）だから（32.0%）」、「お金がかかるから（24.7%）」が続きます。

【加入していない理由・加入したくない理由】



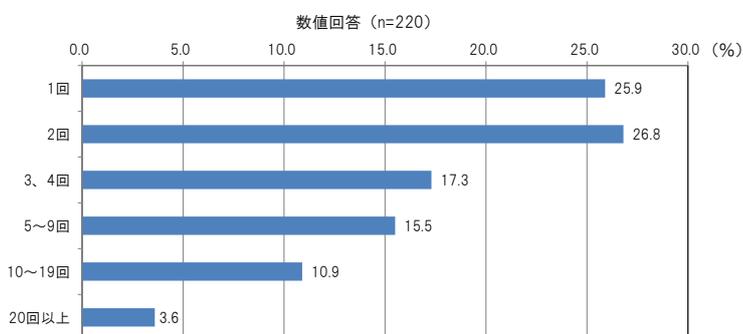
[その他の回答内容]

- ・時間をあわせるのが難しいから
- ・自分のペースでスポーツしたいから
- ・高齢のため
- ・身体的な理由のため
- ・親の介護をしているため
- ・小さな子供がいるため

vi) 直接の競技場等でのスポーツ観戦の頻度

過去1年間に、直接、競技場等で観戦したことのある人の1年間の観戦の回数は、1～2回が約半数（52.7%）を占めていますが、10回以上が1割超（14.5%）みられ、バラツキがみられます。

【過去1年間の直接観戦の回数】



vii) 観戦したい競技種目・リーグ等

今後、本市内で、直接、観戦したい競技種目やリーグ等を自由記述方式で尋ねた結果では、「野球」、「サッカー」、「バレーボール」の順で回答が多くなっています。

【本市内で、直接、観戦したい競技種目・リーグ等】

順位	競技種目名 (大分類)	回答数	主な回答内容	主な内訳 種目(小分類)・リーグ名等別	回答数
1	野球	258	野球、プロ野球、高校野球、社会人野球	プロ野球	210
				高校野球	20
				アマチュア野球(学生・社会人)	5
2	サッカー	155	サッカー、プロサッカー、Jリーグ、J1、J2、日本代表	Jリーグ	47
				日本代表	4
3	バレーボール	123	バレーボール、Vリーグ、リーグ戦、世界大会	Vリーグ	32
4	ずもう	109	大相撲	—	104
5	テニス	55	テニス、プロテニス、ATP、プロ選手の試合	プロテニス、ATP等	8
6	ゴルフ	35	ゴルフ、ゴルフトーナメント、プロゴルフツアー、PGA	トーナメント	2
6	スケート	35	スケート、アイススケート、フィギュアスケート	フィギュアスケート	22
				スケート	13
6	バスケットボール	35	バスケットボール、Bリーグ、NBA	Bリーグ、JBリーグ等	5
				NBA	1
9	ラグビー	27	ラグビー、ラグビートップリーグ	トップリーグ	26
10	体操	23	体操、体操競技、新体操、器械体操	新体操	3
				プロレス	5
11	格闘技	13	格闘技、プロレス、ボクシング、レスリング	ボクシング	4
				レスリング	2
				—	—
12	卓球	12	卓球	—	—
12	陸上競技	12	陸上競技、陸上、陸上大会(全日本大会、国際大会)	—	—
14	バドミントン	11	バドミントン	—	—
15	水泳	10	水泳、シンクロナイズドスイミング	シンクロナイズドスイミング	1
				柔道	4
16	武道	9	柔道、剣道、弓道、空手	剣道	2
				弓道	2
				—	—
17	ダンス	8	ダンス、ダンスイベント、社交ダンス	社交ダンス	4
18	マラソン・駅伝	7	マラソン、フルマラソン、駅伝	フルマラソン	1
				駅伝	1
19	自転車競技	6	自転車、自転車レース、ツールドジャパン	—	—
20	ハンドボール	5	ハンドボール、ハンドボールリーグ	ハンドボールリーグ	1

※自由記述による回答結果(579サンプル)から分類したものです。

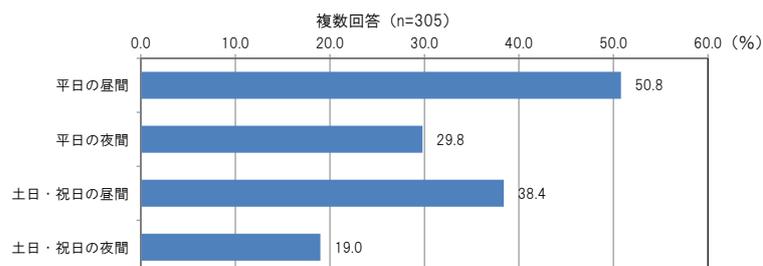
※競技種目ごとに分類し、主な回答を掲載しました(複数回答分は、記述内容ごとに1件と集計しました)。

viii) スポーツ教室の開催に対する希望

a. 開催を希望する時間帯

自身に適した公共や地域主催の教室があった場合に参加したいと回答した方の開催してほしい時間帯は、「平日の昼間」が最も高くなっています(50.8%)。

【開催してほしい時間帯】



b. 参加したいスポーツ教室

自身に適した公共や地域主催の教室があった場合に参加したいと回答した方の、参加したい教室（テーマや種目）は、「ヨガ・太極拳」「ダンス（エアロビクス、社交ダンス、民謡踊等）」「体操」が上位となっています。

【参加したい教室のテーマや種目】

順位	競技種目名 (大分類)	回答数	主な回答内容	主な内訳 種目(小分類)別	回答数
1	ヨガ・太極拳	110	ヨガ・ホットヨガ・パワーヨガ・産後 ヨガ、ピラティス、太極拳	ヨガ・ホットヨガ・パワーヨガ	90
				太極拳	13
				ピラティス	4
2	ダンス（エアロビク ス、社交ダンス、民謡 踊等）	55	ダンス、エアロビクス、フラダンス、 ジャズダンス、フォークダンス、ズン バ	エアロビクス	14
				フラダンス	11
				社交ダンス	9
				ジャズダンス	4
3	体操	46	体操・柔軟体操・ダイエット体操、ス トレッチ、ボクササイズ、ダイエット 体操、リズム体操	体操・柔軟体操・ダイエット体操	19
				ストレッチ	14
				ボクササイズ	4
				リズム体操	2
4	テニス、ソフトテニス	25	テニス、硬式テニス、ソフトテニス	テニス・硬式テニス	24
				ソフトテニス	1
5	ウォーキング	22	ウォーキング・歩き方、ノルディック ウォーキング	ウォーキング・歩き方	19
				ノルディックウォーキング	3
6	柔道、剣道、空手、す もう、ボクシング、レ スリング	18	ボクシング、キックボクシング・ムエ タイ、柔道、空手	ボクシング	4
				キックボクシング・ムエタイ	4
				柔道	3
				空手	2
7	バドミントン	17	バドミントン	バドミントン	17
8	水泳	16	水泳・スイミング、プール歩行・体操	水泳・スイミング	12
				プール歩行・体操	3
9	登山、ハイキング（ク ライミングを含む）	14	登山・山登り、ハイキング・トレッキ ング、ボルダリング、クライミング	登山・山登り	7
				ハイキング・トレッキング	4
				ボルダリング	2
9	卓球	14	卓球	卓球	14
11	ランニング (ジョギング)	11	ランニング、ジョギング、マラソン	ランニング	5
				ジョギング	4
				マラソン	2
12	グラウンドゴルフ、 ゲートボール	10	グラウンドゴルフ	グラウンドゴルフ、ゲートボール	10
12	室内トレーニング運動	10	室内トレーニング、ウエイトトレー ニング、マシントレーニング、ジム	トレーニング講習	4
				マシントレーニング・ジム	2
14	ゴルフ	9	ゴルフ	ゴルフ	10
15	バレーボール	6	バレーボール、ソフトバレーボール	バレーボール	4
				ソフトバレーボール	2
16	野球	5	野球、親子野球教室、野球講話	野球	3

※自由記述による回答結果（267 サンプル）から分類したものです。

※競技種目ごとに分類し、主な回答を掲載しました（複数回答分は、記述内容ごとに1件と集計しました）。

ix) 市のスポーツ推進に対する意見（主な意見を抜粋して掲載）

本編 P19 に掲載したスポーツ振興のテーマに対する意見（具体的な意見等）には、以下のような記述がみられました。主なものを抜粋して掲載します（テーマ別に掲載）。

a. スポーツに関する情報発信や収集の強化

- ・どのようなイベントをしているか知る機会が少ないので、目にとまるところで周知してほしい（女性・30歳代）。
- ・スポーツ施設について、わかりやすい情報を提供してほしい（女性・40歳代）。
- ・地区で開催されているスポーツクラブやサークルの紹介をしてほしい（男性・60歳代）。
- ・大会・イベントなどの年間スケジュールを市の広報に掲載するべきである（女性・50歳代）。

b. 公共のスポーツ施設の整備

- ・競技人口に対する施設の数が少ない（男性・20歳代）。
- ・プロスポーツができる施設を整備して、身近に観戦できるようにしてほしい（男性・60歳代）。
- ・身近に市民が自由に利用できるスポーツ施設がほしい（男性・60歳代）。
- ・公園などでキャッチボールができなくなっているので、場の提供を求む（男性・30歳代）。
- ・気軽にウォーキングができる遊歩道を整備してほしい（男性・70歳以上）。
- ・施設を気軽に借りられるようにしてほしい。例えば、インターネット（スマホ対応）の活用など（女性・40歳代）。

c. 学校開放施設の整備

- ・社会人のサークル・クラブばかりが使用しており、学生たちが自由に使えない（男性・20歳代）。
- ・学校関係者だけが利用できるものと思っていた。参加の機会を知りたい（男性・30歳代）。
- ・学校開放について、特定団体だけでなく偏りなく利用できるようにしてほしい（女性・40歳代）。
- ・手続きを簡素化して、利用しやすくしてほしい（男性・70歳代）。

d. スポーツクラブやサークルが活動しやすい環境づくり

- ・年配向けのサークル活動がほとんどで、中年向けの低料金のものが少ない（女性・40歳代）。
- ・地区別にどのようなサークルがあるかを市のホームページで紹介してほしい（女性・60歳代）。

e. スポーツ大会やイベントの充実

- ・家族や子どもが参加できるスポーツ大会などがあれば参加したい（男性・30歳代）。
- ・親子で参加できるスポーツイベントがあればよい（女性・40歳代）。
- ・大会・イベントは、同じ人ばかりが参加しているように思える。参加したいと思っても、方法がわかりにくかったり、声がかからなかったりするのを参加しやすいように（女性・50歳代）。
- ・大きなイベントは都市部で開催されているので、市では身近な取組を望む（女性・30歳代）。

f. 誰もが気軽に運動・スポーツができる教室の充実

- ・女性や年配向けの教室は充実しているが、若い男性向けのものが少ない（男性・30歳代）。
- ・小さい子どもが参加できる教室があるとうれしい（男性・20歳代）。
- ・ほとんどの教室が平日の昼間で、土日がほとんどない（女性・40歳代）。
- ・高齢者が体力に応じた運動（足腰強化など）ができるようにしてほしい（男性・70歳以上）。

g. 子どもの体力強化（学校体育授業や運動部活動の充実）

- ・部活動では、教員の負担軽減と競技力向上のため、外部コーチを活用すべき（女性・20歳代）。
- ・子どもが安心して外で運動ができる場所が少ないので増やしてほしい（女性・40歳代）。
- ・小学校のスポーツ少年団などの情報が少ないので、参加しやすくしてほしい（女性・40歳代）。

h. 障がい者が運動・スポーツをしやすい環境づくり

- ・都市部に比べて障がい者の利用できる施設が充実していない（女性・30歳代）。
- ・障がい者向けのスポーツ教室があってもよいと思い（女性・30歳代）。
- ・指導者を育成して障がい者がスポーツしやすい環境を整備してほしい（女性・70歳以上）。

i. トップアスリートが身近にみられるイベントの開催

- ・イベント開催を通じて、アスリートをめざす子どもを増やすべき（女性・50歳代）。

- ・市内でプロのリーグ戦が観戦できるようにしてほしい（女性・50歳代）。
- ・四日市市出身のアスリートによるトークショーの開催を希望します（男性・50歳代）。

j. スポーツ指導者の養成

- ・学校に負担をかけるのではなく、行政がお金を出して指導者を養成すべき（女性・50歳代）。
- ・アスリートだけがスポーツ指導者になるのではなく、熱意のある方が子どもをゆっくり指導することが重要である。気長に基本から指導できる人を養成すべき（男性・70歳以上）。

k. 市内選手の競技力強化および支援

- ・人気のスポーツ選手だけでなく、現状、目立っていない選手も応援すべき（女性・40歳代）。
- ・選手を強化する設備が不足しており、他地域と比べると選手への支援が少ない（男性・40歳代）
- ・全国大会で上位の子どもが何人かいるため、支援をすることでオリンピック選手を輩出できたらよいと思う（女性・40歳代）。

l. スポーツを通じた観光・経済の活性化

- ・全国には、過疎地でもスポーツチームを通じて地域を活性化している事例があるので、参考にしてスポーツを市の経済活性化に活用してほしい（男性・40歳代）。

x) その他の自由記述意見（主な意見を抜粋して掲載）

- ・四日市は公害のイメージが強いので、スポーツで健康に力を入れることは大切（女性・30歳代）。
- ・学生時の経験を活かし、ボランティアで指導をしてみたいがどこに聞いたらよいか分からない（男性・30歳代）。

2) スポーツ団体向けアンケート調査

①回答者の属性

【団体の種類】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	四日市市体育協会加盟団体	29	35.8	35.8
2	四日市市レクリエーション協会加盟団体	13	16.0	16.0
3	四日市市スポーツ少年団加盟団体	34	42.0	42.0
4	総合型地域スポーツクラブ	5	6.2	6.2
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	81	100.0	81

【団体の構成員数】(数値での回答、平成28年5月末時点のもの)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	10人以下	8	9.9	10.7
2	11～20人	16	19.8	21.3
3	21～30人	16	19.8	21.3
4	31～50人	6	7.4	8.0
5	51～70人	1	1.2	1.3
6	71～100人	2	2.5	2.7
7	101～200人	8	9.9	10.7
8	201～300人	2	2.5	2.7
9	301～500人	4	4.9	5.3
10	501～1,000人	5	6.2	6.7
11	1,001～2,000人	5	6.2	6.7
12	2,001人以上	2	2.5	2.7
	無回答	6	7.4	
	N (%ベース)	81	100.0	75

【団体の主な活動エリア】(複数回答可)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	市内	70	86.4	86.4
2	三四地域(四日市市と三重郡の全域)	25	30.9	30.9
3	市外	15	18.5	18.5
4	活動エリアは決まっていない	3	3.7	3.7
	無回答	0	0.0	
	N (%ベース)	81	100.0	81

<市内の地域の内訳(複数回答可)>

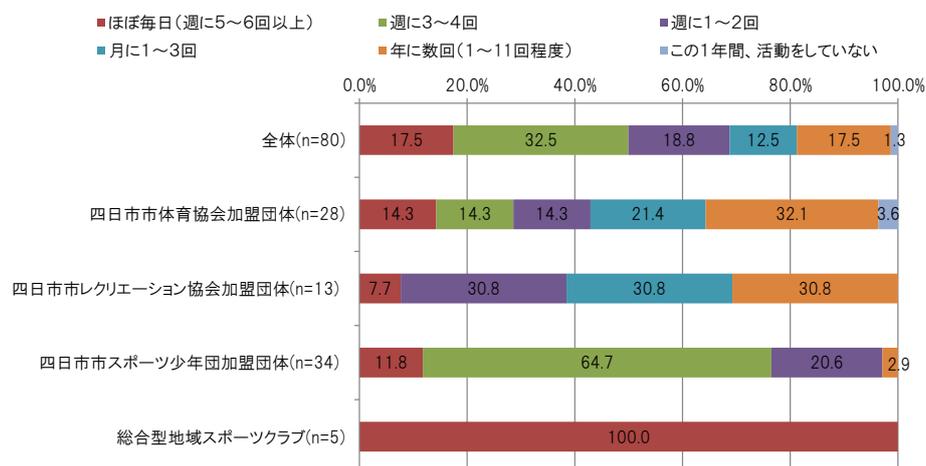
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	中部	11	13.6	16.2
2	富洲原	6	7.4	8.8
3	富田	5	6.2	7.4
4	羽津	13	16.0	19.1
5	常磐	7	8.6	10.3
6	日永	9	11.1	13.2
7	四郷	7	8.6	10.3
8	内部	6	7.4	8.8
9	塩浜	5	6.2	7.4
10	小山田	3	3.7	4.4
11	川島	3	3.7	4.4
12	神前	5	6.2	7.4
13	桜	4	4.9	5.9
14	三重	7	8.6	10.3
15	県	5	6.2	7.4
16	八郷	7	8.6	10.3
17	下野	5	6.2	7.4
18	大矢知	6	7.4	8.8
19	河原田	1	1.2	1.5
20	水沢	2	2.5	2.9
21	保々	5	6.2	7.4
22	海蔵	3	3.7	4.4
23	橋北	7	8.6	10.3
24	楠	7	8.6	10.3
25	市内全域	19	23.5	27.9
	無回答	13	16	
	N (%ベース)	81	100	68

②集計結果

i) 活動頻度

週1回以上の頻度で活動をしている割合は、体育協会加盟団体では42.9%、レクリエーション協会加盟団体では38.5%、スポーツ少年団加盟団体では76.5%、総合型地域スポーツクラブでは100.0%となっています。これらは、各団体の機能や役割も関係しているものをみられます。

【活動頻度（団体の種類別）】



ii) 団体の取組、活動の問題点

a. 会員数の増加や競技力の向上に向けて、特に取り組んでいること（主な意見を抜粋して掲載）

- ・ホームページでの情報発信とオリンピック選手との交流イベントの実施（体協加盟）。
- ・地域に出向いてのデモンストレーションの実施や大会の手伝い（体協加盟）。
- ・市が行う教室とは別に、小学生を対象とした教室を開催（体協加盟）。
- ・市民に幅広く知ってもらうためにイベントを開催している（体協加盟）。
- ・機関紙を発行して、行事予定や会員情報、加盟団体の情報を知らせている（レク協加盟）。
- ・学校に依頼して募集チラシを配布している（スポ少加盟）。
- ・スーパー等に募集チラシを掲示している（スポ少加盟）。
- ・親ならびに子どもの価値観が変化していることに対応するため、定期的な休みの日を設けて、勉強やスポーツ以外のことができるように配慮している（スポ少加盟）。
- ・SNSでの情報発信や無料体験、定期的な紹介キャンペーンを実施（総合型）。
- ・競技力の向上に向け、公認指導者資格保有者の方を活用している（体協加盟）。
- ・トップチームによる巡回指導を実施している。（体協加盟）。

※体育協会加盟団体＝「体協加盟」、レクリエーション協会加盟団体＝「レク協加盟」、「スポーツ少年団加盟団体」＝「スポ少加盟」と表記しています（以下、同じ）。

b. 活動が低調になった理由や、会員数や指導者が減少している理由（該当の団体のみが記載。主な意見を抜粋して掲載）

- ・会員が高齢化しており、また、若い人が加入してこない（体協加盟）。
- ・企業チームが減少していることが影響している（体協加盟）。
- ・同じ競技で似たような団体が増えたことが影響している（レク協加盟）。
- ・児童数の減少が大きな要因となっているほか、他の種目の団体が増えたため、児童が分散して

いる。親が、自身の負担を理由に子どもを入団させることをためらうことがある。なかには、スポーツに無関心な親もいる（スポ少加盟）。

- ・地域の子どもの数は減少しているほか、スポーツが多様化しており、当団体の競技そのものが低迷している（スポ少加盟）。
- ・指導するよりも現状のままが良いと考える愛好家が多いため、指導者が減少する（体協加盟）。

c. 活動を継続していくにあたっての問題点（主な意見を抜粋して掲載）

- ・競技の指導者が少なく、若い選手を指導する人がいない（体協加盟）。
- ・行事を増やして競技力の向上を図るためには、体育館が不足している（体協加盟）。
- ・競技ができるグラウンドの数が不足しており、日程を消化するのが困難である（体協加盟）。
- ・競技用の備品が不足している（体協加盟）。
- ・中心となって活動してもらう人が仕事で忙しくて時間が確保できない（レク協加盟）。
- ・地区のリーダーになってもらえる人が見つからない（レク協加盟）。
- ・指導員が高齢化しており、研修や会場への足を運んでいただくのが困難になっている（レク協加盟）。
- ・行事に協力いただける人を集めるための手段が必要となっている（レク協加盟）。
- ・少子化の影響で団員の確保が困難になっている（スポ少加盟）。
- ・中学校に対象種目の部活動がないと、団員の確保が難しい（スポ少加盟）。
- ・若い指導者の育成に努力しているが、仕事との両立が難しい（スポ少加盟）。
- ・活動拠点となる施設や教室開催の場所が必要。また、活動資金の確保が難しい（総合型）。

iii) その他の自由記述意見（主な意見を抜粋して掲載）

- ・「三重とこわか国体」を展望し、指導者の活動の場をひろげ、また、若手アスリートの育成を図っていくべきである。施設利用に際して、ボランティア団体への援助が求められる（体協加盟）。
- ・スポーツに打ち込む学生が将来の夢を持てるように、企業に対してアスリート採用などでの支援を求む（体協加盟）。
- ・会員が減少している団体に対して重点的に指導をするほか、補助金の追加なども検討してほしい（レク協加盟）。
- ・活動の参考にするため、年に1回は他の競技種目の団体との交流があるといい（レク協加盟）。
- ・市のイベントは、地区によって参加者に差がみられるため、それを改善してほしい（総合型）。

3) スポーツ推進委員向けアンケート調査

①集計結果

i) 選出された地域のスポーツ活動の現状や問題点に関する意見（主な意見を抜粋して掲載）

- ・校区によって活動に差があり、住民にどのような活動をしているか理解されていない。
- ・スポーツ活動は活発ではあるが、それぞれの活動同士のつながりがないので、それぞれの連携できる方策があるとよい。
- ・学校開放施設が空いておらず、近くに適切な施設がないのでイベントが開催しにくい。
- ・競技種目が限られており、幅広いスポーツ団体が存在しない。
- ・高齢者が多く、新しいスポーツに取り組む気運がなく、毎年決まったイベントしか行われていない。
- ・高齢者の割合が高いため、行事の参加が少ないうえ、スポーツ推進に適切な競技種目がみつからない。
- ・地区によってスポーツ推進に対する力の入れ方に違いがある。

ii) 市のスポーツ推進に対する意見（主な意見を抜粋して掲載）

＜本編＞P20に掲載したスポーツ振興のテーマに対する意見（具体的な意見等）には、以下のよう
な記述がみられました。主なものを抜粋して掲載します（テーマ別に掲載）。

a. スポーツに関する情報発信や収集の強化

- ・ニュースポーツを広めたいが周知の手段に限られる。特に、40代、50代に対する手段がない。

b. 公共のスポーツ施設の整備

- ・施設へのアクセスが悪く駐車場が狭い。よって、イベントの際はシャトルバスを多くすべき。
- ・公共のスポーツ施設の予約が簡単になるようにすべきである。

c. 学校開放施設の整備

- ・予算的に厳しいため、学校開放施設の修繕が思ったようにできない。
- ・学校開放施設の利用団体の偏りをなくす工夫が必要である。

d. スポーツクラブやサークルが活動しやすい環境づくり

- ・総合型地域スポーツクラブが活動しやすいよう、専用施設を設置するような構想があってほしい。

e. スポーツ大会やイベントの充実

- ・数々の大会がありますが、参加者が固定しているため、気軽に参加できるものが必要である。
- ・個人が気軽に参加できるスポーツ大会を考えてほしい。

f. 誰もが気軽に運動・スポーツができる教室の充実

※記載がありませんでした。

g. 子どもの体力強化（学校体育授業や運動部活動の充実）

- ・地域と学校がスポーツを通じて連携ができる方策を考えてほしい。学校によって方針が異なる場合がある。

h. 障がい者が運動・スポーツをしやすい環境づくり

- ・障害者と健常者がスポーツを通じて対等の関係となる環境づくりに向け、スポーツ施設を整備する必要がある。

i. トップアスリートが身近にみられるイベントの開催

- ・「三重とこわか国体」、東京オリンピックを機に一流選手がみられる機会を作るため、練習場やキャンプ場の誘致を行ってほしい。そうすれば、市内選手の競技力強化にもつながる。

j. スポーツ指導者の養成

- ・トップレベルの学生を指導できる指導者の養成が必要である。

k. 市内選手の競技力強化および支援

- ・アスリートが若年から壮年まで能力を発揮できるような市や関係団体の支援が必要である。

l. スポーツを通じた観光・経済の活性化

- ・「三重とこわか国体」における本市での開催種目を軸に国内外の選手の交流試合を誘致すべき。
- ・市が強い意志をもってスポーツを通じた観光経済の活性化策を講じるべき。

iii) その他の自由記述意見（主な意見を抜粋して掲載）

- ・市がスポーツ推進にあたって一番と考えるものがわかりにくい。例えば、トップアスリートの輩出や、生涯スポーツの発展といったテーマで重視すべきものを示すべきである。

(3)「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（文部科学省）」の調査結果

1) 体力想定結果8種目・体力合計点（平均値）

【小学5年生（過去3年分）】

調査種目	区分	男子			女子		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
握力 (kg)	四日市市	16.27	16.53	16.56	15.50	16.06	16.11
	三重県	16.51	16.52	16.48	16.01	16.13	16.08
	全国	16.55	16.45	16.47	16.09	16.05	16.13
上体起こし (回)	四日市市	17.86	18.76	19.08	16.69	17.77	17.57
	三重県	18.22	18.78	19.03	16.96	17.48	17.77
	全国	19.56	19.58	19.67	18.26	18.41	18.60
長座体前屈 (cm)	四日市市	33.38	33.29	33.23	37.69	37.21	37.58
	三重県	33.21	33.31	32.89	37.65	37.52	37.10
	全国	32.87	33.05	32.87	37.22	37.45	37.21
反復横とび (点)	四日市市	41.06	43.04	42.98	38.04	40.28	40.91
	三重県	41.75	42.32	42.84	39.39	40.03	40.74
	全国	41.61	41.60	41.97	39.37	39.56	40.06
20mシャトルラン (回)	四日市市	49.60	51.22	52.23	36.46	39.09	40.51
	三重県	50.02	51.06	51.17	37.63	39.44	39.42
	全国	51.67	51.64	51.89	40.30	40.70	41.29
50m走 (秒)	四日市市	9.49	9.51	9.51	9.80	9.82	9.78
	三重県	9.43	9.42	9.47	9.73	9.71	9.72
	全国	9.38	9.37	9.38	9.63	9.62	9.61
立ち幅とび (cm)	四日市市	148.13	148.46	150.03	140.54	142.43	144.38
	三重県	149.68	150.23	149.84	142.50	143.96	143.68
	全国	151.70	151.27	151.39	144.79	144.80	145.31
ソフトボール投げ (m)	四日市市	22.00	21.74	21.89	13.68	13.47	13.44
	三重県	22.69	22.66	22.29	14.18	14.07	14.11
	全国	22.89	22.51	22.42	13.89	13.76	13.88
体力合計点 (点)	四日市市	52.27	53.33	53.57	52.76	54.10	54.81
	三重県	53.09	53.56	53.52	53.96	54.65	54.87
	全国	53.91	53.81	53.92	55.01	55.19	55.54

※網掛けは全国平均を上回る項目です。

【中学2年生（過去3年分）】

調査種目	区分	男子			女子		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
握力 (kg)	四日市市	28.04	28.26	28.11	23.01	22.99	23.46
	三重県	28.60	28.90	28.64	23.56	23.39	23.69
	全国	29.00	28.91	28.91	23.68	23.65	23.75
上体起こし (回)	四日市市	26.77	28.05	27.27	23.11	23.52	24.07
	三重県	26.66	27.23	26.91	22.17	22.67	23.03
	全国	27.36	27.35	27.46	22.99	23.18	23.48
長座体前屈 (cm)	四日市市	42.55	44.61	44.06	45.02	45.54	47.14
	三重県	42.70	43.24	43.31	44.71	45.06	45.63
	全国	42.87	43.04	43.06	45.25	45.55	45.46
反復横とび (点)	四日市市	50.50	52.85	52.88	45.60	47.18	48.44
	三重県	51.53	52.11	52.42	45.72	46.62	47.40
	全国	51.31	51.63	51.93	45.64	46.10	46.60
持久走 (秒)	四日市市	409.05	400.72	400.45	291.61	297.49	286.64
	三重県	398.06	394.45	397.39	292.44	293.24	289.19
	全国	393.74	393.42	391.72	291.18	290.60	288.51
20mシャトルラン (回)	四日市市	83.46	86.23	85.48	57.27	59.59	60.82
	三重県	84.33	84.97	85.75	56.40	57.95	59.12
	全国	85.02	85.28	86.24	57.50	57.79	58.80
50m走 (秒)	四日市市	8.15	8.09	8.25	8.86	8.96	8.88
	三重県	8.06	8.02	8.07	8.93	8.92	8.88
	全国	8.03	8.01	8.03	8.87	8.84	8.83
立ち幅とび (cm)	四日市市	187.45	194.06	192.14	163.37	166.88	170.33
	三重県	190.18	194.28	194.60	164.23	166.96	169.35
	全国	193.44	194.11	194.69	166.47	167.23	168.28
ハンドボール投げ (m)	四日市市	20.74	21.13	20.97	13.55	13.31	13.63
	三重県	20.73	20.79	20.81	13.19	13.11	13.34
	全国	20.81	20.61	20.59	12.81	12.77	12.85
体力合計点 (点)	四日市市	39.95	42.56	42.10	48.37	49.00	51.28
	三重県	40.95	42.05	42.11	48.00	48.75	50.02
	全国	41.63	41.80	42.13	48.55	48.96	49.56

※網掛けは全国平均を上回る項目です。

2) 実技〔総合評価〕の結果

【小学5年生（平成28年度）】

区分 単位：%	男子						女子					
	A	B	C	D	E	A~C の計	A	B	C	D	E	A~C の計
四日市市	12.5	24.9	30.0	21.0	11.6	67.4	12.9	26.6	34.5	18.8	7.1	74.0
三重県	11.5	24.5	32.2	21.4	10.5	68.2	13.5	26.3	33.8	19.5	6.8	73.6
全国	11.7	25.1	33.5	20.6	9.1	70.3	15.4	27.2	33.7	18.1	5.6	76.3

【中学2年生（平成28年度）】

区分 単位：%	男子						女子					
	A	B	C	D	E	A~C の計	A	B	C	D	E	A~C の計
四日市市	8.9	25.1	38.7	19.3	8.0	72.7	35.2	33.5	21.1	8.4	1.7	89.8
三重県	8.3	25.4	39.0	20.1	7.2	72.7	31.4	31.8	24.0	10.7	2.0	87.2
全国	7.8	26.1	37.9	21.6	6.5	71.8	28.9	32.5	26.1	10.6	2.0	87.5

2) スポーツ課以外の所管する運動施設

名称	施設の種類	所在地
北勢中央公園 (三重県 県土整備部)	野球場、テニスコート、他	四日市市西村町 1080 番地
ヘルスプラザ (健康福祉部)	温水プール、軽運動室、トレーニング室、他	四日市市塩浜町 1 番地 11
障害者体育センター (健康福祉部)	体育館	四日市市西日野町 4070 番地 1
あさけプラザ (市民文化部)	体育館	四日市市下之宮町 296 番地 1
勤労者・市民交流センター (商工農水部)	体育館	四日市市日永東一丁目 2 番 25 号
四日市スポーツランド (文化まちづくり財団)	サイクリング、アスレチック、チビッコプール、他	四日市市桜町西
伊坂ダムサイクルパーク (文化まちづくり財団)	サイクリング、ウォーキング等	四日市市伊坂町

3) 地区運動広場

施設名	所在地	設置建設 年月日	競技面積 (㎡)	概要	運営管理 委託団体名
笹川西公園運動広場	笹川 5 丁目 (笹川西公園内)	S 46.9.20	8,000	ソフトボール場 1 面 テニスコート 2 面 (クレイ)	笹川連合自治会
小山田地区 テニスコート	山田町 1373-1	S 58.12.20	5,300	クレイコート 1 面	小山田地区連合自治会
県地区テニス コート	赤水町 1520	S 58.10.1	2,701	クレイコート 2 面	県地区 連合自治会
保々工業団地 総合広場	小牧町字高山 2800-6	S 61.4.1	18,945	ソフトボール場 2 面	五町運動施設運営委員会
三重団地 テニスコート	三重 9 丁目 (11 号公園内)	S 59.8.1	1,368	クレイコート 2 面	三重地区総合型地域スポーツクラブさんさん
富洲原地区 運動広場	天ヶ須賀新町 1-4	S 62. 4.1	11,047	ソフトボール場 1 面	富洲原地区 運動広場運営委員会
桜ハイツ中央 公園運動広場	桜花台 2 丁目 5826-6	S 63. 8.24	4,265 1,100	ソフトボール場 1 面 テ ニスコート 1 面 (ハード)	桜花台 連合自治会
小山田ソフト ボール場	鹿間町字水谷 1200-5	H 元.3.31	7,600	ソフトボール場 1 面	小山田地区連合自治会
山之一色スポ ーツ公園運動 広場	山之一色町 字龍宮口 777	H 4.5.12	8,118 733	ソフトボール場 1 面 テニスコート 1 面 (ハー ド)	山之一色町自治会
県地区運動広 場	上海老 2101-5	H 6.10.1	5,807 3,510	ソフトボール場 1 面 多 目的広場 1 面	県地区連合自治会
采女が丘運動 広場	采女が丘 1 丁目 142-1	H 6.11.1	4,127 752	多目的広場 1 面 テニスコート 1 面 (ハード)	采女が丘町自治会
水沢地区運動 広場	水沢町 4279-1	S 54.8.30	36,385	サッカー場 2 面 テニスコート 2 面 (クレイ)	水沢地区 運動広場運営委員会
垂坂地区 運動広場	南垂坂町 810-2	H 15.4.1	6,748	ソフトボール場 1 面	垂坂町第一自治会
大谷台 テニスコート	大谷台 2 丁目 1571-4	H 12.9.1	648	テニスコート 1 面 (ハード)	大谷台 2 丁目テニスコ ート運営委員会

(5) 四日市市スポーツ推進審議会委員名簿

役職	氏名	団体
会長	水谷 敏男	NPO法人 四日市市体育協会会長
副会長	馬場 宏	四日市市スポーツ推進委員協議会会長
委員	田中 憲治	四日市市スポーツ少年団代表
委員	永田 英機	四日市市レクリエーション協会会長
委員	森 淑子	生涯スポーツ優良団体代表
委員	川邊 雅史	四日市市立小学校長会代表（日永小学校長）
委員	伊藤 昌裕	四日市市立中学校長会代表（南中学校長）
委員	吉崎 美穂	四日市市立幼稚園長会代表（富田幼稚園長）
委員	仁和 有子	四日市市PTA連絡協議会代表
委員	加田 武徳	四日市市子ども会育成者連絡協議会体育部長
委員	中瀬古 真喜子	四日市市スポーツ推進委員協議会女性代表
委員	田中 由紀子	NPO法人 楠スポーツクラブマネージャー
委員	岩井 道子	四日市スポーツリーダーバンク代表
委員	犬飼 禄寛	四日市市健康福祉部障害福祉課長

(6) 用語集

※並びは五十音順

【あ行】

・アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）

日本体育協会が開発し、普及を進めているもので、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きや身体を操作する能力を獲得し、高めるための運動プログラムのこと。

・美し国三重市町対抗駅伝

県内のスポーツ推進及び市町の振興を図るため、平成 20 年に始まった市町対抗駅伝大会のこと。津市の県庁前から伊勢市の県営総合競技場までの 42.195 k m を小学生から一般選手が 10 区間で繋ぐ。

・SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service）の略で、人と人とのつながりを促進・支援する、コミュニティ型の Web サイトおよびネットサービスのこと。

【か行】

・健康ボランティア

地域で生活習慣病予防や介護予防のための運動をすすめるボランティアのこと。

・コンベンション

大規模な会議や展示会・見本市等、人を中心とした物や知識、情報等の交流を目的とした集会のこと。

【さ行】

・指定管理者

従来、地方公共団体や外郭団体に制限されていた公共施設の管理運営を株式会社や N P O 法人といった民間事業者も参入できるようにした指定管理者制度に基づいて、地方公共団体が管理運営を任せる団体のこと。

・シティプロモーション

自治体が都市の特色や魅力等を宣伝し、売り込むことによって、知名度やイメージを上げていくこと。シティセールスともいう。

・授業はじめの 5 分間運動

市内の小中学校で取り組んでいる体育科・保健体育科の授業のはじめの 5 分間に行う、心と体をほぐすための運動のこと。

・生涯スポーツ

性別や年齢を問わず、誰もが個々の体力や技術に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも親しむことができるスポーツのこと。

・スポーツ基本計画（平成 24 年 3 月策定）

スポーツ基本法の理念を具体化し、今後の我が国のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置付けられるもの。

・スポーツ基本法（平成 23 年 6 月制定）

昭和 36 年に制定されたスポーツ振興法を 50 年ぶりに全部改正し、スポーツに関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めたもの。

・スポーツコミッション

スポーツをまちづくりや地域の活性化を図る手段のひとつと捉え、市、スポーツ関連団体、事業者等が連携及び協働して地域振興を目指すことを目的とした連携又は組織的な取組のこと。

・全国体力・運動能力、運動習慣等調査

平成 20 年度から日本全国の小学 5 年生、中学 2 年生全員を対象として行われる、子どもの体力向上に生かす目的で実施されるスポーツテストのこと。

・総合型地域スポーツクラブ

人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのこと。

【た行】

・トリムコース

「トリム」とはバランスを保つことを意味するノルウェーの造船用語で、そこから心身ともにバランスをとるためにスポーツで健康・体力づくりをするという「トリム運動」がヨーロッパから世界中に広がった。「トリムコース」とは、健康増進のために歩いたり走ったりできる歩道のこと。

【は行】

・プロスポーツ

プロフェッショナルスポーツの略称で、一般には職業として行われるスポーツのことを指す。スポーツをする能力が高く、それにより報酬を得ているプロフェッショナル選手やその指導者等で構成されたスポーツ・スポーツ組織のこと。

・ボールゲームフェスタ（BGF）

主に小学生を対象に日本トップリーグ連携機構に所属するトップアスリートがボールを使う運動の楽しさや技術を指導し、スポーツの楽しさ・魅力を再発見してもらうイベントのこと。

・ボッチャ

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目となっている。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う。

【ま行】

・三重県スポーツ推進計画（平成27年3月策定）

「三重県スポーツ推進条例」のめざす姿の実現に向けて、平成30年度までの4年間の県の実施計画を明確にしたもので、本計画に基づく取組を通じて、スポーツを「する」人、「みる」人、「支える」人が拡がるとともに、スポーツの持つ価値がさまざまな場面で共有され、「県民の力を結集した元気なみえ」の実現に繋げていくもの。

・三重県スポーツ推進条例（平成26年12月制定）

スポーツの持つ多面的な価値を県民全体で共有し、県民の自主的、主体的なアクションにつながるようスポーツ推進の理念や取組方針を明らかにしていくことを目的に制定したもの。

【や行】

・四日市サイクルスポーツフェスティバル

青少年の自転車競技への関心を高め、スポーツの全国大会開催を通じて地域の活性化を図ることを目的に水沢・桜地区で開催する自転車レースのこと。

・四日市市スポーツ施設整備計画（平成27年3月策定）

本市のスポーツ施設について、平成33年開催予定の「三重とこわか国体」も見据え、その現状と課題を明らかにするとともに、平成27年度から平成36年度までの10年間の施設整備の基本的な考え方や具体的な整備方針を示したもの。

・四日市市スポーツ少年団

スポーツ少年団とは、スポーツを通じた青少年の心身の健全な育成を目的として結成された団体で、全国に多数存在し、市区町村等の単位による組織に加盟している。現在、四日市市スポーツ少年団には、62 単位団が加盟している。

・四日市市スポーツ推進委員

スポーツ推進を図るために、スポーツの技術指導や、スポーツに関する様々な指導・助言、住民と行政を結ぶコーディネーターとしての役割を担う指導者として、本市がスポーツ基本法に基づき委嘱している委員のこと。

・四日市市体育協会

昭和 22 年、市民の体力向上及び本市発展の基盤を培うことを目的に市内のアマチュアスポーツを統合する体育団体として設立し、現在、48 団体が加盟している。平成 18 年度から指定管理者制度により 29 運動施設の管理を行っており、各種市民大会やスポーツ教室を実施している。

・四日市シティロードレース

中央緑地を会場として、市内外から多くのランナーが集まる市内最大のスポーツイベントで、10km コースは桜並木の市街地を走る日本陸連公認コースという特色がある。

・四日市市民スポーツフェスタ

毎年 10 月に開催され、青少年から高齢者まで参加でき、市民の幅広い層に定着している本市の代表的なスポーツイベントのこと。昭和 45 年に体力づくり市民大会として体育の日に第 1 回大会が開催され、平成 15 年に四日市市民スポーツフェスタと名称変更した。

・四日市市みんなのスポーツ応援条例（平成 28 年 12 月制定）

議員提案により制定された条例で、「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる活力あるまちづくりの創生に資することを目的として、スポーツの推進に関する施策の基本となる事項を定めたもの。

・四日市市レクリエーション協会

昭和 33 年、本市の地域性に即したレクリエーション運動の振興に努めることを目的に設立し、現在 19 団体が加盟している。

・ロゲイニング

地図・コンパスを使って、野外に設置されたチェックポイントをできるだけ多く制限時間内に回り、得られた点数を競うアウトドアスポーツのこと。

第3次四日市市スポーツ推進基本計画
平成29年3月
四日市市教育委員会スポーツ課
〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号
TEL 059-354-8429
FAX 059-354-8432
E-mail sports@city.yokkaichi.mie.jp